

令和2年度 神奈川県児童・生徒の問題行動・不登校等調査 調査結果の概要2（公立学校分）

資料2

目次

1	暴力行為の状況（公立小・中・高等学校）	・・・ 1
2	いじめの状況（公立小・中・高・特別支援学校、県・市町村教育委員会）	・・・ 7
3	長期欠席・不登校児童・生徒の状況（公立小・中学校）	・・・ 14
4	長期欠席・不登校生徒の状況（公立高等学校）	・・・ 23
5	中途退学者等の状況（公立高等学校）	・・・ 31
6	自殺の状況（公立小・中・高等学校）	・・・ 34
7	出席停止の状況（公立小・中学校）	・・・ 35
8	教育相談の状況（県・市町村教育委員会）	・・・ 36

* 小学校には義務教育学校前期課程を、中学校には義務教育学校後期課程及び
中等教育学校前期課程を、高等学校には中等教育学校後期課程を含む

令和3年10月
神奈川県教育委員会

1 暴力行為の状況【公立小・中・高等学校】

(1-1)暴力行為の発生状況

ア 合計(対教師暴力・生徒間暴力・対人暴力・器物損壊)

区分	学校総数 (校)	計			
		発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小学校	856	548	64.0	6,054	4,799
中学校	412	297	72.1	1,714	1,556
高等学校	155	71	45.8	264	353
計	1,423	916	64.4	8,032	6,708

イ 対教師暴力

区分	学校総数 (校)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小学校	856	203	23.7	802	363
中学校	412	75	18.2	193	100
高等学校	155	9	5.8	13	12
計	1,423	287	20.2	1,008	475

エ 対人暴力

区分	学校総数 (校)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小学校	856	23	2.7	29	29
中学校	412	17	4.1	20	23
高等学校	155	5	3.2	5	6
計	1,423	45	3.2	54	58

ウ 生徒間暴力

区分	学校総数 (校)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小学校	856	496	57.9	4,604	4,024
中学校	412	271	65.8	1,152	1,117
高等学校	155	47	30.3	143	196
計	1,423	814	57.2	5,899	5,337

オ 器物損壊

区分	学校総数 (校)	発生学校 数(校)	発生学校数 の割合(%)	発生件数 (件)	加害児童・ 生徒数(人)
小学校	856	259	30.3	619	610
中学校	412	144	35.0	349	356
高等学校	155	46	29.7	103	142
計	1,423	449	31.6	1,071	1,108

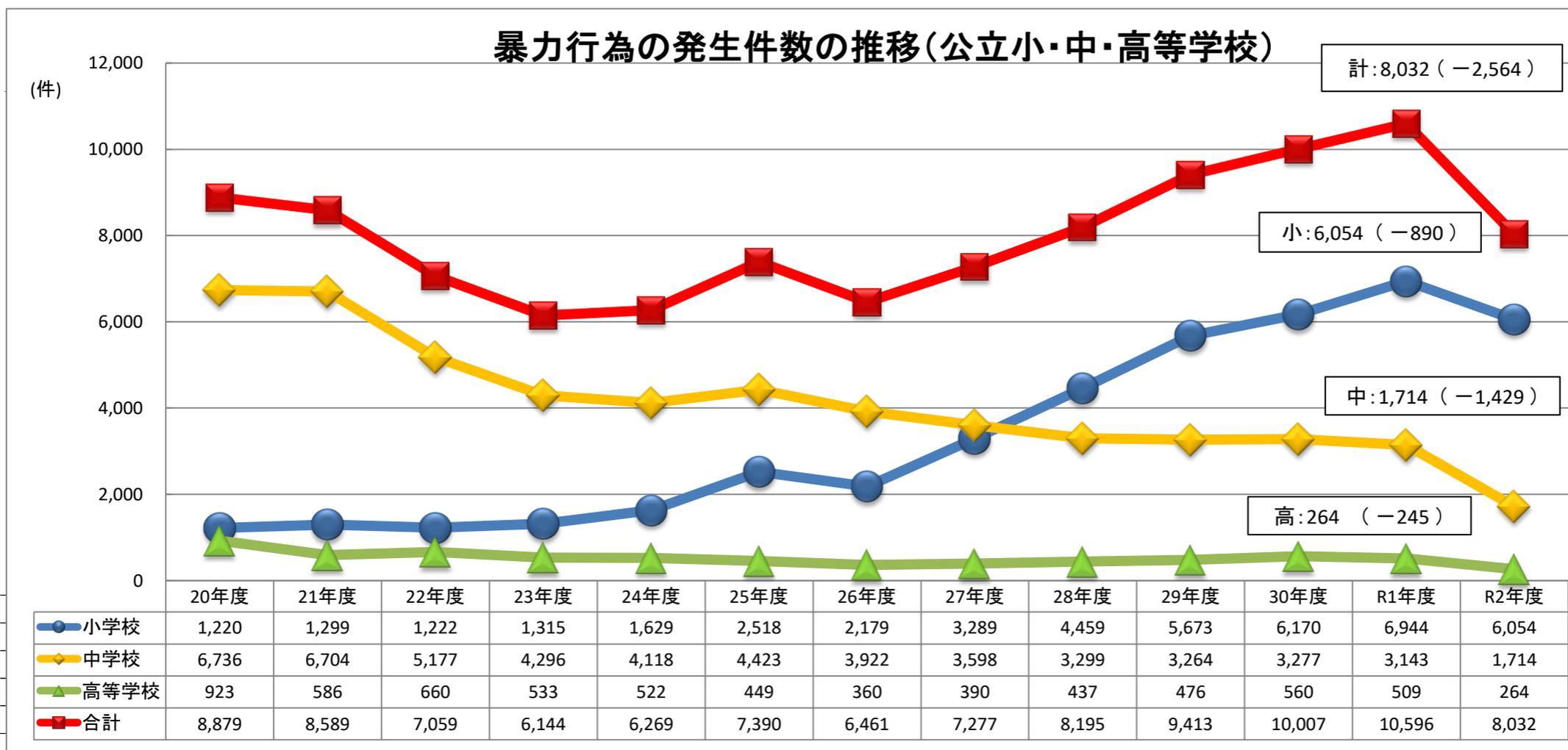
※ア～オともに

(注1)学校総数は、令和2年度学校基本調査の数値。中学校には中等教育学校前期課程を含む。高等学校の学校数は、全日制、定時制、通信制、併置校及び中等教育学校後期課程の合計数。

(注2)「対教師暴力」、「生徒間暴力」、「対人暴力」及び「器物損壊」欄の加害児童・生徒数は、各区分ごとに実数。

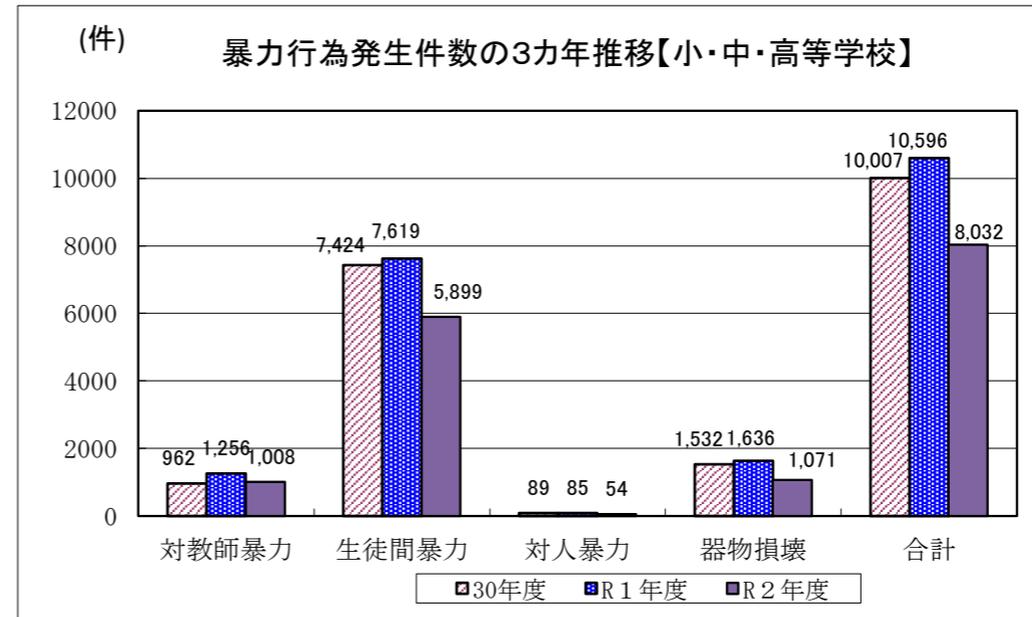
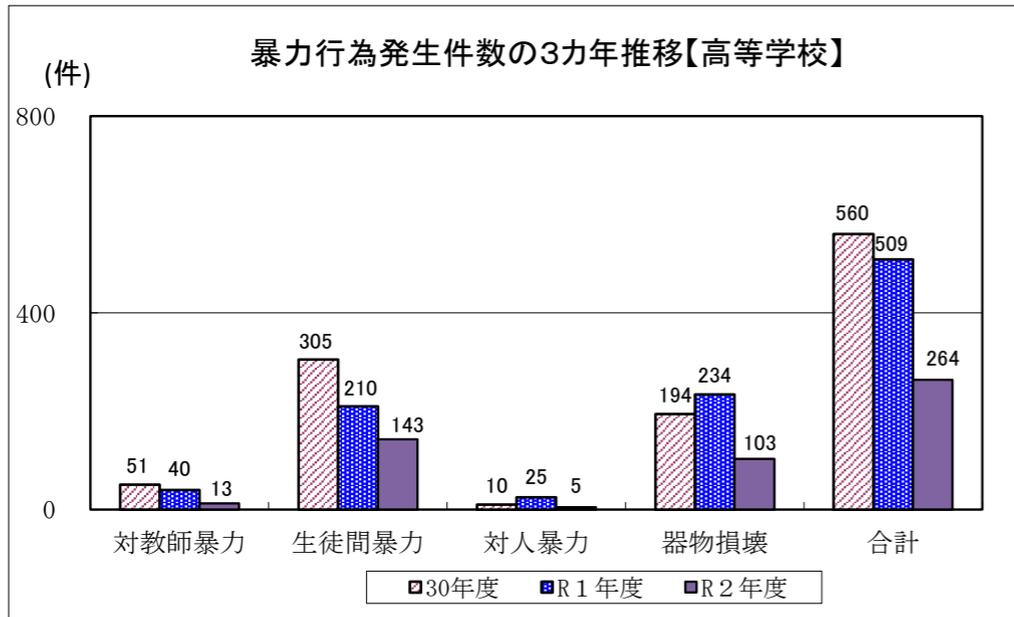
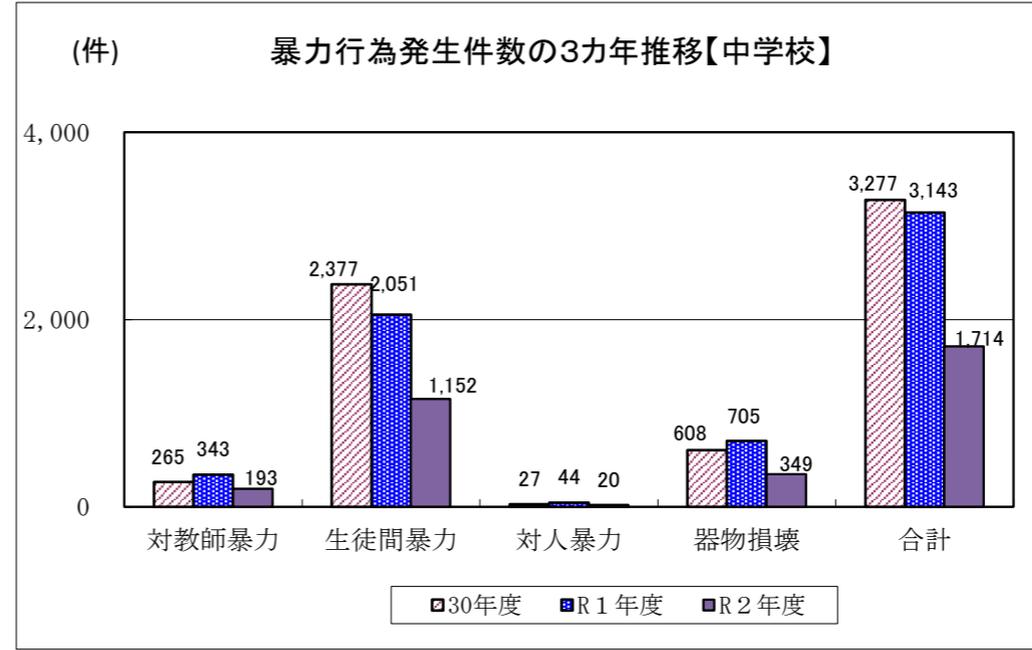
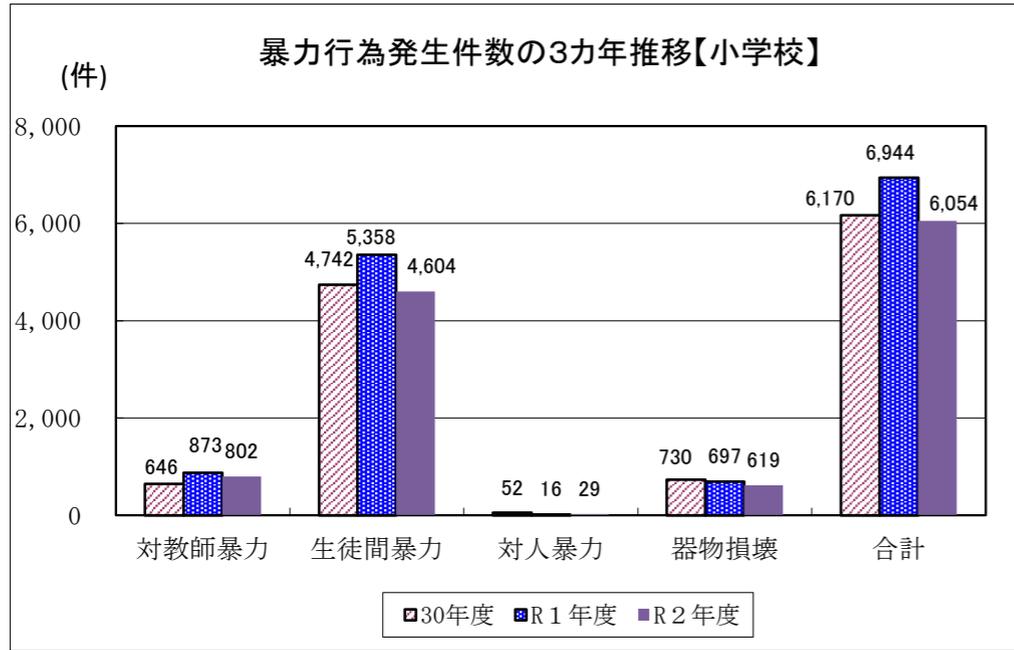
(注3)「合計」欄の発生学校数は、各区分ごとに実数。

(参考1)
暴力行為の発生件数の推移



(参考2)

暴力行為の発生件数(学校種・形態別)の3カ年推移



(1-2) 学年別加害児童・生徒数

区分	小学校							中学校				高等学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3・4年生	計	
	755	847	794	786	895	722	4,799	760	478	318	1,556	168	98	87	353	6,708

(注)人数は、実人数で、「1. 暴力行為の状況」の「(1-1) 暴力行為の発生状況」の「ア 合計」の「加害児童・生徒数(人)」の各学校種の合計欄の人数と一致する。

(1-3) 加害児童・生徒に対する学校の措置別人数

区分	退学・転学		停学	出席停止	自宅学習 自宅謹慎等	訓告	計
	懲戒退学	その他					
小学校	0	1	—	0	—	0	1
中学校	0	0	—	0	—	0	0
高等学校	0	12	0	—	183	0	195

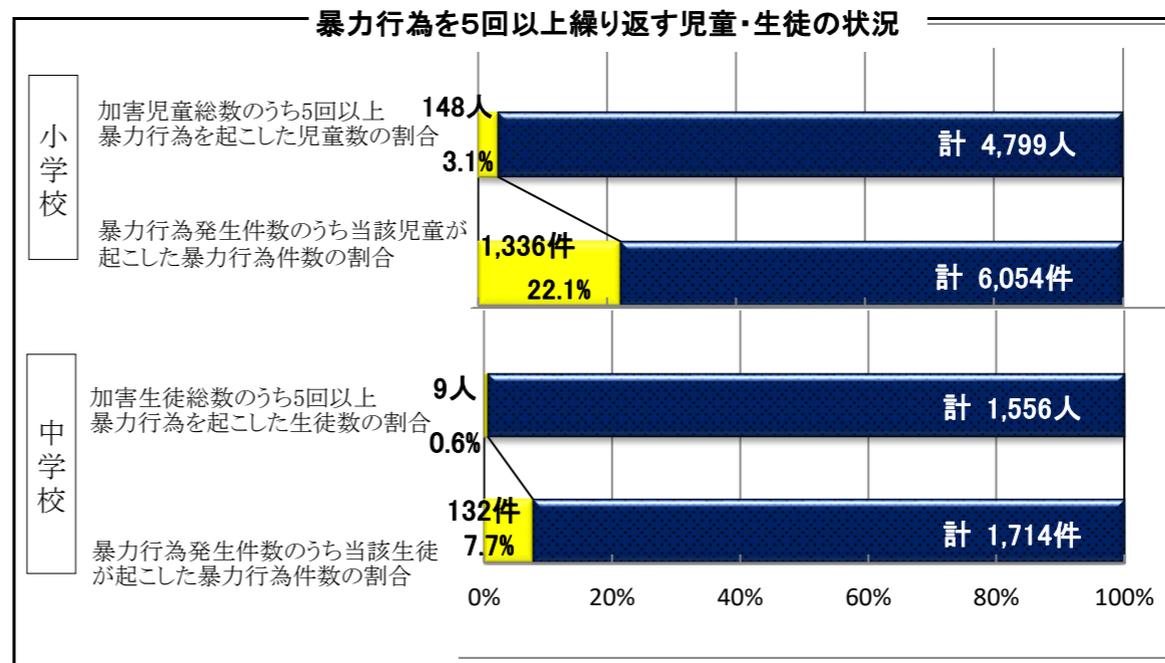
(注1)「退学・転学」中のその他とは、勸奨・申出による退学及び転学である。

(注2)「訓告」とは、校長が学校教育法施行規則第26条に定める懲戒処分としての「訓告」であることを明示して行ったものであり、事実上の懲戒として行われる単なる「叱責」等は含まれない。

(1-4) 暴力行為を5回以上繰り返し起こした児童・生徒の状況

ア 暴力行為を5回以上繰り返し起こした児童・生徒数等

	小学校	中学校
該当児童・生徒数	148人	9人
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数	1,336件	132件
内訳		
対教師暴力	467件	89件
生徒間暴力	775件	35件
対人暴力	5件	0件
器物損壊	89件	8件
加害児童・生徒数のうち該当児童・生徒の割合	3.1%	0.6%
(再掲)各区分における加害児童・生徒数	4,799人	1,556人
暴力発生件数のうち該当児童・生徒が起こした割合	22.1%	7.7%
(再掲)暴力行為発生件数	6,054件	1,714件



(参考)

【小学校学年別人数】

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
該当児童・生徒数	20	31	29	27	24	17	148
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数	204	286	339	209	174	124	1,336
内訳							
対教師暴力	67	87	183	54	55	21	467
生徒間暴力	125	173	141	141	102	93	775
対人暴力	0	0	1	0	0	4	5
器物損壊	12	26	14	14	17	6	89

【中学校学年別人数】

	1年生	2年生	3年生	計
該当児童・生徒数	2	1	6	9
該当児童・生徒が起こした暴力行為発生件数	10	5	117	132
内訳				
対教師暴力	4	2	83	89
生徒間暴力	6	2	27	35
対人暴力	0	0	0	0
器物損壊	0	1	7	8

イ 繰り返し暴力を起こす理由として考えられる要因

		小学校		中学校		計	
		回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)	回答数	構成比(%)
本人の問題	① 本人に粗暴的な性格が見受けられる	119	80.4	7	77.8	126	80.3
	② 本人の規範意識が低いと思われる	95	64.2	8	88.9	103	65.6
家庭の問題	③ 養育放棄(ネグレクト)が背景にあるように思われる	14	9.5	1	11.1	15	9.6
	④ ネグレクト以外の児童虐待が背景にあるように思われる	17	11.5	2	22.2	19	12.1
	⑤ 家族関係のなかでのストレスや葛藤がある	57	38.5	4	44.4	61	38.9
学校の問題	⑥ 友達との人間関係をうまく構築できない	105	70.9	7	77.8	112	71.3
	⑦ 教員との信頼関係が崩れたからだと思われる	31	20.9	0	0.0	31	19.7
	⑧ 校内での非行グループ化が背景にある	1	0.7	0	0.0	1	0.6
	⑨ 卒業生や校外の非行グループとの繋がりが背景にある	0	0.0	2	22.2	2	1.3
	⑩ 授業を理解できないことが原因と思われる	51	34.5	3	33.3	54	34.4
その他	⑪ その他	34	23.0	3	33.3	37	23.6

(注1)複数回答のため、回答数の合計は該当児童・生徒数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分における加害児童・生徒数に対する割合。

5回以上該当者数	小学校	148	中学校	9	合計	157
----------	-----	-----	-----	---	----	-----

2 いじめの状況【公立小・中・高・特別支援学校・県・市町村教育委員会】

(2-1)いじめの認知学校数・認知件数

区分	公立学校総数: A(校)	認知学校数: B(校)	比率: B/A×100(%)	認知件数: C(件)	1校あたりの認知 件数:C/A(件)	認知していない 学校数:D(校)	比率: D/A×100(%)
小学校	856	848	99.1	19,287	22.5	8	0.9
中学校	412	401	97.3	3,619	8.8	11	2.7
高等学校	180	53	29.4	94	0.5	127	70.6
特別支援学校	49	18	36.7	61	1.2	31	63.3
計	1,497	1,320	88.2	23,061	15.4	177	11.8

(注1)いじめの定義

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童・生徒の立場に立って行うものとする。「いじめ」とは、「児童・生徒に対して、当該児童・生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童・生徒と一定の人的関係のある他の児童・生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童・生徒が、心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。「いじめ」の中には、犯罪行為として取り扱われるべきと認められ、早期に警察に相談することが重要なものや、児童・生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような、直ちに警察に通報することが必要なものが含まれる。これらについては、教育的な配慮や被害者の意向への配慮のうえで、早期に警察に相談・通報の上、警察と連携した対応をとることが必要である。

(注2)小・中学校の学校総数は、令和2年度学校基本調査の数値。中学校には中等教育学校前期課程を含む。

(注3)高等学校の学校総数は、高等学校の全定併置校や通信制併設校等を全日制、定時制、通信制をそれぞれ1校として計上しているため、学校基本調査の数値と一致しない。

(2-2)いじめの認知件数の学年別、男女別内訳

区分	小学校							中学校				高等学校			
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計	1学年	2学年	3学年	計	1学年	2学年	3・4学年	計
男子	2,082	2,065	2,014	2,247	2,043	1,613	12,064	1,119	628	334	2,081	29	13	6	48
女子	1,248	1,272	1,177	1,354	1,201	971	7,223	722	543	273	1,538	21	17	8	46
計	3,330	3,337	3,191	3,601	3,244	2,584	19,287	1,841	1,171	607	3,619	50	30	14	94

区分	特別支援学校																合計
	小学部							中学部				高等部				計	
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計	1学年	2学年	3学年	小計		
男子	0	0	1	1	1	0	3	1	0	1	2	6	9	12	27	32	14,225
女子	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	3	10	8	7	25	29	8,836
計	0	0	1	1	2	0	4	2	1	2	5	16	17	19	52	61	23,061

(2-3)警察に相談・通報した校数・件数

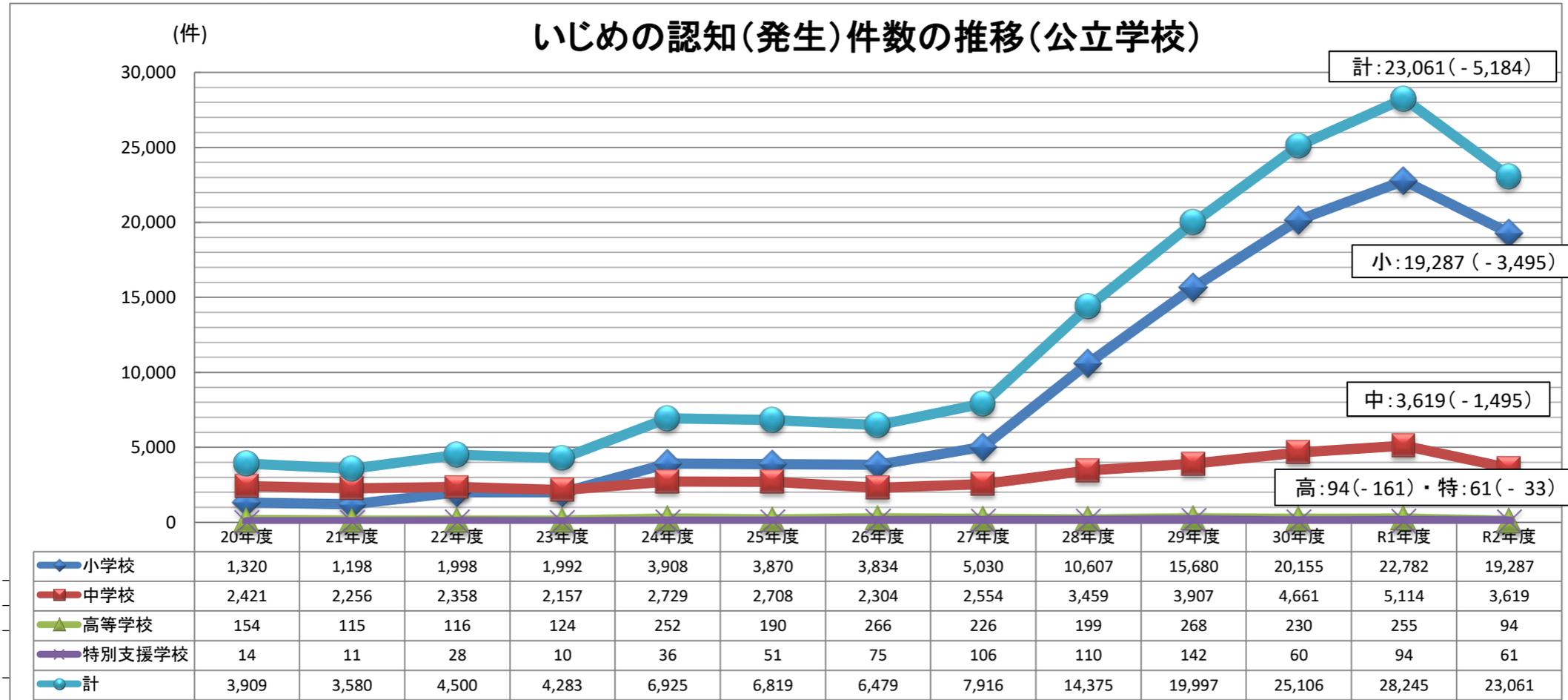
区分	いじめの認知件数		
	(単位:件)	うち、警察に相談・通報した件数 (単位:件)	警察に相談・通報した件数の割合 (単位:%)
小学校	19,287	40	0.2
中学校	3,619	44	1.2
高等学校	94	4	4.3
特別支援学校	61	2	3.3
計	23,061	90	0.4

(注1)「うち、警察に相談・通報した学校数(単位:校)」は、令和2年度間において、1件以上のいじめについて警察に相談・通報した場合1校とする。

(注2)「うち、警察に相談・通報した件数(単位:件)」は、「認知件数(単位:件)」のうち、犯罪行為として取り扱われるべきと認められる事案や、いじめられている児童生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような事案等、学校が警察に相談・通報した件数とする。なお、学校関与のもと、いじめを受けた児童生徒の保護者等が被害届を提出した場合も件数に含める。

(参考)

いじめの認知(発生)件数の推移



(2-4)いじめの状況(令和3年3月31日現在の状況)

区分	解消しているもの		解消に向けて取組中(3カ月以上)		解消に向けて取組中(3カ月未満)		その他		計	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
小学校	13,604	70.5	2,167	11.2	3,506	18.2	10	0.1	19,287	100.0
中学校	2,550	70.5	430	11.9	632	17.5	7	0.2	3,619	100.0
高等学校	69	73.4	10	10.6	10	10.6	5	5.3	94	100.0
特別支援学校	39	63.9	10	16.4	5	8.2	7	11.5	61	100.0
計	16,262	70.5	2,617	11.3	4,153	18.0	29	0.1	23,061	100.0

(2-5)いじめの現在の状況(令和3年7月20日現在の状況)

区分	解消しているもの		解消に向けて取組中		その他		計	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
小学校	17,848	92.5	1,426	7.4	13	0.1	19,287	100.0
中学校	3,261	90.1	350	9.7	8	0.2	3,619	100.0
高等学校	84	89.4	5	5.3	5	5.3	94	100.0
特別支援学校	42	68.9	12	19.7	7	11.5	61	100.0
計	21,235	92.1	1,793	7.8	33	0.1	23,061	100.0

(2-6)いじめの発見のきっかけ

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学校の教職員等が発見	9,049	46.9	1,139	31.5	34	36.2	43	70.5	10,265	44.5
学級担任が発見	2,711	14.1	475	13.1	5	5.3	23	37.7	3,214	13.9
学級担任以外の教職員が発見(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	353	1.8	291	8.0	2	2.1	5	8.2	651	2.8
養護教諭が発見	59	0.3	15	0.4	0	0.0	0	0.0	74	0.3
スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	27	0.1	8	0.2	0	0.0	0	0.0	35	0.2
アンケート調査など学校の取組により発見	5,899	30.6	350	9.7	27	28.7	15	24.6	6,291	27.3
学校の教職員等以外からの情報により発見	10,238	53.1	2,480	68.5	60	63.8	18	29.5	12,796	55.5
本人からの訴え	5,318	27.6	1,702	47.0	37	39.4	8	13.1	7,065	30.6
当該児童・生徒(本人)の保護者からの訴え	3,705	19.2	552	15.3	13	13.8	6	9.8	4,276	18.5
児童・生徒(本人を除く)からの情報	815	4.2	166	4.6	8	8.5	1	1.6	990	4.3
保護者(本人の保護者を除く)からの情報	334	1.7	49	1.4	1	1.1	1	1.6	385	1.7
地域住民からの情報	28	0.1	3	0.1	0	0.0	0	0.0	31	0.1
学校以外の関係機関(相談機関等を含む)からの情報	29	0.2	8	0.2	1	1.1	2	3.3	40	0.2
その他(匿名による投書など)	9	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	9	0.0
計	19,287	100	3,619	100	94	100	61	100	23,061	100

(注)「学校の教職員等が発見」か「学校の教職員以外からの情報により発見」のいずれかを選択し、その内訳についても該当するものを一つ選択している。

(2-7)いじめられた児童・生徒の相談状況

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
学級担任に相談	15,717	81.5	2,795	77.2	62	66.0	52	85.2	18,626	80.8
学級担任以外の教職員に相談(養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	2,097	10.9	791	21.9	30	31.9	7	11.5	2,925	12.7
養護教諭に相談	448	2.3	121	3.3	14	14.9	0	0.0	583	2.5
スクールカウンセラー等の相談員に相談	258	1.3	92	2.5	11	11.7	4	6.6	365	1.6
学校以外の相談機関に相談(電話相談やメール等も含む)	81	0.4	47	1.3	2	2.1	4	6.6	134	0.6
保護者や家族等に相談	5,969	30.9	926	25.6	24	25.5	14	23.0	6,933	30.1
友人に相談	1,176	6.1	257	7.1	8	8.5	1	1.6	1,442	6.3
その他(地域の人など)	40	0.2	2	0.1	0	0.0	0	0.0	42	0.2
誰にも相談していない	574	3.0	101	2.8	4	4.3	4	6.6	683	3.0
いじめの認知件数	19,287		3,619		94		61		23,061	

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-8)いじめの態様

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	10,169	52.7	2,175	60.1	58	61.7	27	44.3	12,429	53.9
仲間はずれ、集団による無視をされる	2,205	11.4	300	8.3	10	10.6	4	6.6	2,519	10.9
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする	4,188	21.7	354	9.8	10	10.6	8	13.1	4,560	19.8
ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする	1,196	6.2	115	3.2	2	2.1	2	3.3	1,315	5.7
金品をたかられる	115	0.6	39	1.1	3	3.2	1	1.6	158	0.7
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	1,189	6.2	183	5.1	4	4.3	6	9.8	1,382	6.0
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	2,014	10.4	250	6.9	2	2.1	13	21.3	2,279	9.9
パソコンや携帯電話等で、ひぼう中傷や嫌なことをされる	484	2.5	518	14.3	20	21.3	7	11.5	1,029	4.5
その他	750	3.9	159	4.4	13	13.8	7	11.5	929	4.0
いじめの認知件数	19,287		3,619		94		61		23,061	

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-9)いじめの児童・生徒への特別な対応

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計		
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	
スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行った	250	1.3	67	1.9	8	8.5	5	8.2	330	1.4	
校長、教頭が指導した	419	2.2	36	1.0	26	27.7	2	3.3	483	2.1	
別室指導した	200	1.0	95	2.6	29	30.9	6	9.8	330	1.4	
学級替えをした	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.6	1	0.0	
退学 懲戒処分としての退学	-	-	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
転学 その他	1	0.0	1	0.0	2	2.1	0	0.0	4	0.0	
停学	-	-	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
出席停止	0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	0	0.0	
自宅学習・自宅謹慎	-	-	-	-	8	8.5	0	0.0	8	0.0	
訓告	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
保護者への報告	10,079	52.3	2,632	72.7	42	44.7	31	50.8	12,784	55.4	
いじめられた児童・生徒やその保護者に対する謝罪の指導	11,148	57.8	2,040	56.4	27	28.7	32	52.5	13,247	57.4	
関係機関との連携	ア 警察等の刑事司法機関等との連携	55	0.3	46	1.3	1	1.1	0	0.0	102	0.4
	イ 児童相談所等の福祉機関等との連携	52	0.3	11	0.3	1	1.1	0	0.0	64	0.3
	ウ 病院等の医療機関等との連携	34	0.2	11	0.3	0	0.0	2	3.3	47	0.2
	エ その他の専門的な関係機関との連携	66	0.3	10	0.3	2	2.1	0	0.0	78	0.3
	オ 地域の人材や団体等との連携	7	0.0	2	0.1	1	1.1	1	1.6	11	0.0
いじめの認知件数	19,287		3,619		94		61		23,061		

(注1) 複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超えない場合もある。(注2) 構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-10)いじめられた児童・生徒への特別な対応

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリングを行った	353	1.8	213	5.9	23	24.5	10	16.4	599	2.6
別室を提供や常時教職員が付くなどして、心身の安全を確保した	510	2.6	348	9.6	23	24.5	9	14.8	890	3.9
緊急避難として欠席させた	22	0.1	10	0.3	4	4.3	0	0.0	36	0.2
学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施した	383	2.0	622	17.2	3	3.2	2	3.3	1,010	4.4
学級替えをした	1	0.0	0	0.0	2	2.1	1	1.6	4	0.0
当該いじめについて、教育委員会と連携して対応した	239	1.2	99	2.7	14	14.9	1	1.6	353	1.5
児童相談所等の関係機関と連携して対応した(サポートチームなども含む)	100	0.5	36	1.0	4	4.3	1	1.6	141	0.6
いじめの認知件数	19,287		3,619		94		61		23,061	

(注1)複数回答のため、件数の合計は認知件数と合わない。また、構成比の合計は100%を超えない場合もある。(注2)構成比は、各区分における認知件数に対する割合。

(2-11)学校におけるいじめの問題に対する日常の取組

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
職員会議等を通じて、いじめの問題に関して教職員間で共通理解を図った	856	100.0	412	100.0	137	76.1	41	83.7	1,446	96.6
いじめの問題に関する校内研修会を実施した	775	90.5	371	90.0	70	38.9	25	51.0	1,241	82.9
道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った	856	100.0	412	100.0	81	45.0	34	69.4	1,383	92.4
児童・生徒会活動等を通じて、いじめの問題を考えさせたり、児童・生徒同士の人間関係や仲間作りを促進したりした	748	87.4	364	88.3	59	32.8	23	46.9	1,194	79.8
スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して教育相談体制の充実を図った	826	96.5	396	96.1	160	88.9	35	71.4	1,417	94.7
教育相談の実施について、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った	777	90.8	382	92.7	151	83.9	34	69.4	1,344	89.8
学校いじめ防止基本方針をホームページに公表するなど、保護者や地域住民の理解を得よう努めた	836	97.7	401	97.3	101	56.1	37	75.5	1,375	91.9
P T Aなど地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた	501	58.5	248	60.2	18	10.0	7	14.3	774	51.7
いじめの問題に対し、警察署や児童相談所など地域の関係機関と連携協力した対応を図った	517	60.4	256	62.1	26	14.4	10	20.4	809	54.0
インターネットを通じて行われるいじめの防止及び効果的な対応のための啓発活動を実施した	769	89.8	383	93.0	117	65.0	29	59.2	1,298	86.7
学校いじめ防止基本方針が学校の実情に即して機能しているか点検し、必要に応じて見直しを行った	828	96.7	395	95.9	114	63.3	41	83.7	1,378	92.1
いじめ防止対策推進法第22条に基づき、いじめ防止等の対策のための組織を招集した。	856	100.0	412	100.0	78	43.3	38	77.6	1,384	92.5
学校総数	856		412		180		49		1,497	

(注1)複数回答のため、校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

(2-12)いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童・生徒に対し行った具体的な方法

【いじめを認知した学校】

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施		848	100.0	401	100.0	53	100.0	13	72.2	1,315	99.6
実施頻度	ア 年1回	65	7.7	12	3.0	9	17.0	6	33.3	92	7.0
	イ 年2～3回	648	76.4	240	59.9	42	79.2	7	38.9	937	71.0
	ウ 年4回以上	135	15.9	149	37.2	2	3.8	0	0.0	286	21.7
調査方法	ア 記名式	608	71.7	300	74.8	30	56.6	3	16.7	941	71.3
	イ 無記名式	380	44.8	184	45.9	15	28.3	7	38.9	586	44.4
	ウ 記名・無記名の選択式	69	8.1	46	11.5	11	20.8	3	16.7	129	9.8
回答方法	ア 学校で記入	847	99.9	392	97.8	43	81.1	11	61.1	1,293	98.0
	イ 持ち帰って記入	9	1.1	25	6.2	15	28.3	3	16.7	52	3.9
個別面談の実施		665	78.4	344	85.8	34	64.2	13	72.2	1,056	80.0
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等		351	41.4	175	43.6	5	9.4	6	33.3	537	40.7
家庭訪問		291	34.3	177	44.1	2	3.8	3	16.7	473	35.8
その他		53	6.3	16	4.0	5	9.4	1	5.6	75	5.7
いじめを認知した学校数		848		401		53		18		1,320	

(注1)複数回答のため、校数の合計はいじめを認知した学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分におけるいじめを認知した学校数に対する割合。

【いじめを認知していない学校】

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)
アンケート調査の実施		8	100.0	11	100.0	124	97.6	23	74.2	166	93.8
実施頻度	ア 年1回	1	12.5	1	9.1	21	16.5	8	25.8	31	17.5
	イ 年2～3回	7	87.5	7	63.6	101	79.5	15	48.4	130	73.4
	ウ 年4回以上	0	0.0	3	27.3	2	1.6	0	0.0	5	2.8
調査方法	ア 記名式	5	62.5	6	54.5	63	49.6	8	25.8	82	46.3
	イ 無記名式	3	37.5	4	36.4	34	26.8	8	25.8	49	27.7
	ウ 記名・無記名の選択式	0	0.0	2	18.2	31	24.4	7	22.6	40	22.6
回答方法	ア 学校で記入	8	100.0	10	90.9	106	83.5	14	45.2	138	78.0
	イ 持ち帰って記入	0	0.0	2	18.2	24	18.9	9	29.0	35	19.8
個別面談の実施		5	62.5	11	100.0	79	62.2	17	54.8	112	63.3
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等		4	50.0	8	72.7	7	5.5	7	22.6	26	14.7
家庭訪問		2	25.0	5	45.5	4	3.1	6	19.4	17	9.6
その他		2	25.0	3	27.3	6	4.7	6	19.4	17	9.6
いじめを認知していない学校数		8		11		127		31		177	

(注1)複数回答のため、校数の合計はいじめを認知していない学校数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分におけるいじめを認知していない学校数に対する割合。

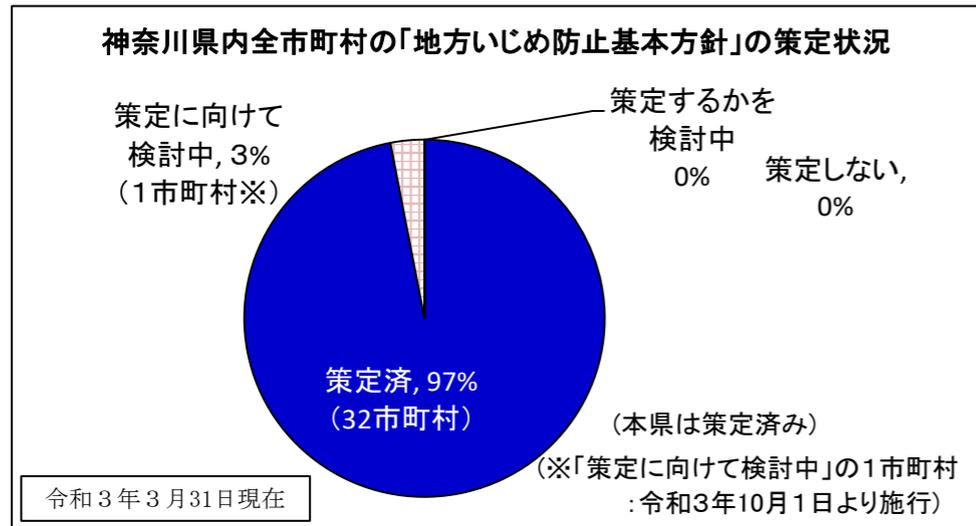
【合計】

区分	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計		
	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	校数(校)	構成比(%)	
アンケート調査の実施	856	100.0	412	100.0	177	98.3	36	73.5	1,481	98.9	
実施頻度	ア 年1回	66	7.7	13	3.2	30	16.7	14	28.6	123	8.2
	イ 年2～3回	655	76.5	247	60.0	143	79.4	22	44.9	1,067	71.3
	ウ 年4回以上	135	15.8	152	36.9	4	2.2	0	0.0	291	19.4
調査方法	ア 記名式	613	71.6	306	74.3	93	51.7	11	22.4	1,023	68.3
	イ 無記名式	383	44.7	188	45.6	49	27.2	15	30.6	635	42.4
	ウ 記名・無記名の選択式	69	8.1	48	11.7	42	23.3	10	20.4	169	11.3
回答方法	ア 学校で記入	855	99.9	402	97.6	149	82.8	25	51.0	1,431	95.6
	イ 持ち帰って記入	9	1.1	27	6.6	39	21.7	12	24.5	87	5.8
個別面談の実施	670	78.3	355	86.2	113	62.8	30	61.2	1,168	78.0	
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童・生徒との間で日常的に行われている日記等	355	41.5	183	44.4	12	6.7	13	26.5	563	37.6	
家庭訪問	293	34.2	182	44.2	6	3.3	9	18.4	490	32.7	
その他	55	6.4	19	4.6	11	6.1	7	14.3	92	6.1	
学校総数	856		412		180		49		1,497		

(注1)複数回答のため、校数の合計は学校総数と合わない。また、構成比の合計は100%を超える。

(注2)構成比は、各区分における学校総数に対する割合。

(参考)「いじめ防止対策推進法」に関して



(2-13)いじめ防止対策推進法第28条第1項に規定する「重大事態」の発生状況

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
重大事態発生件数(校)	7	5	0	0	12
重大事態発生件数(件)	8	6	0	0	14
うち、第1号	2	1	0	0	3
うち、第2号	7	6	0	0	13

*いじめ防止対策推進法第28条第1項第1号の規定は「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。」であり、同項第2号の規定は「いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。」である。

いじめ防止対策推進法第30条第2項及び第31条第2項に規定する調査(再調査)について

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
再調査を行った件数(校)	0	0	0	0	0

(2-14)いじめの問題により就学校の指定変更等を受けた児童・生徒数

区分	小学校	中学校	特別支援学校	合計
児童・生徒数	7	8	0	15

就学校の指定の変更又は区域外就学を認めた市町村数	7
--------------------------	---

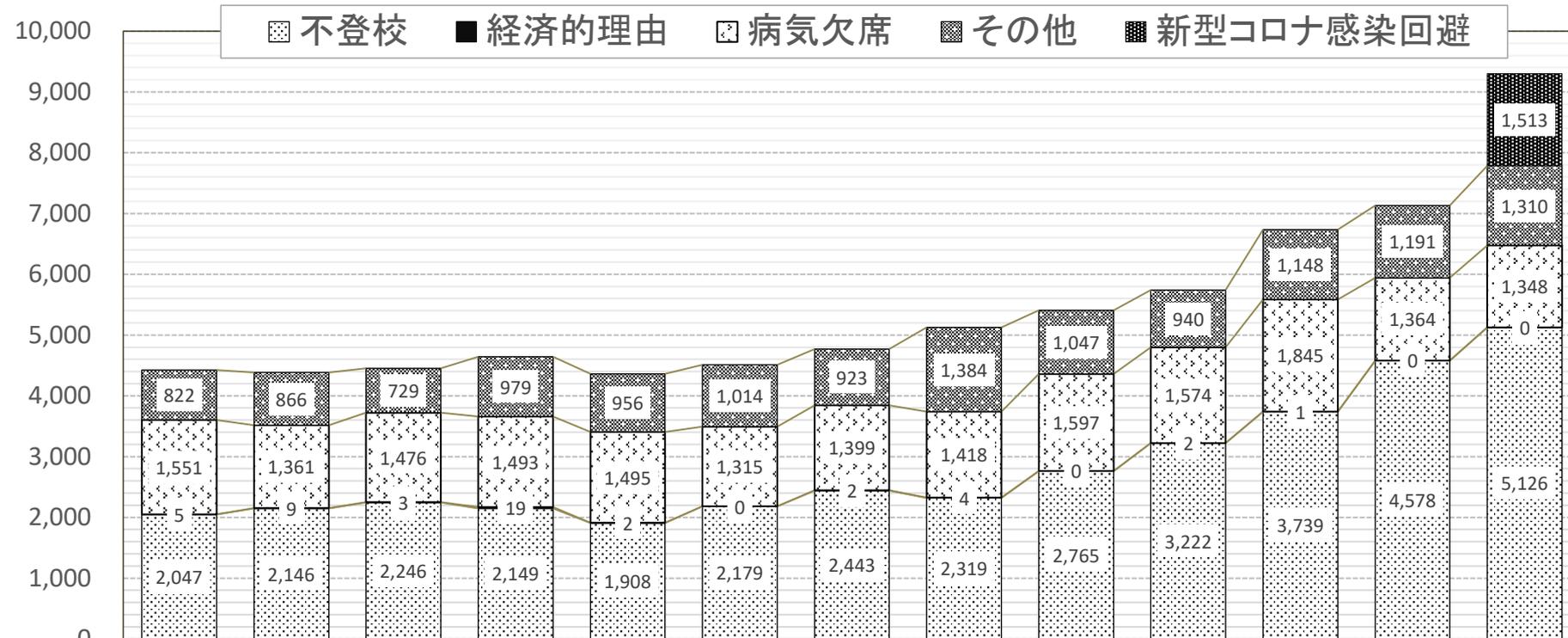
3 長期欠席・不登校児童・生徒の状況【公立小・中学校】

(3-1)理由別長期欠席者数

区分	学年	在籍者数	理由別長期欠席者数													
			不登校		経済的理由		病気		その他		計		新型コロナウイルス 感染回避		総計	
			人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
小学校	1年生	71,632	300	0.42	0	0.00	121	0.17	214	0.30	635	0.89	200	0.28	835	1.17
	2年生	73,049	471	0.64	0	0.00	165	0.23	176	0.24	812	1.11	230	0.31	1,042	1.43
	3年生	73,144	680	0.93	0	0.00	198	0.27	171	0.23	1,049	1.43	234	0.32	1,283	1.75
	4年生	75,127	899	1.20	0	0.00	214	0.28	178	0.24	1,291	1.72	218	0.29	1,509	2.01
	5年生	75,004	1,237	1.65	0	0.00	281	0.37	201	0.27	1,719	2.29	209	0.28	1,928	2.57
	6年生	75,965	1,539	2.03	0	0.00	369	0.49	370	0.49	2,278	3.00	422	0.56	2,700	3.55
	計	443,921	5,126	1.15	0	0.00	1,348	0.30	1,310	0.30	7,784	1.75	1,513	0.34	9,297	2.09
中学校	1年生	67,960	2,304	3.39	0	0.00	353	0.52	147	0.22	2,804	4.13	176	0.26	2,980	4.38
	2年生	67,183	3,363	5.01	1	0.00	412	0.61	143	0.21	3,919	5.83	189	0.28	4,108	6.11
	3年生	65,398	3,474	5.31	0	0.00	371	0.57	174	0.27	4,019	6.15	178	0.27	4,197	6.42
	計	200,541	9,141	4.56	1	0.00	1,136	0.57	464	0.23	10,742	5.36	543	0.27	11,285	5.63
合	計	644,462	14,267	2.21	1	0.00	2,484	0.39	1,774	0.28	18,526	2.87	2,056	0.32	20,582	3.19

【小学校】

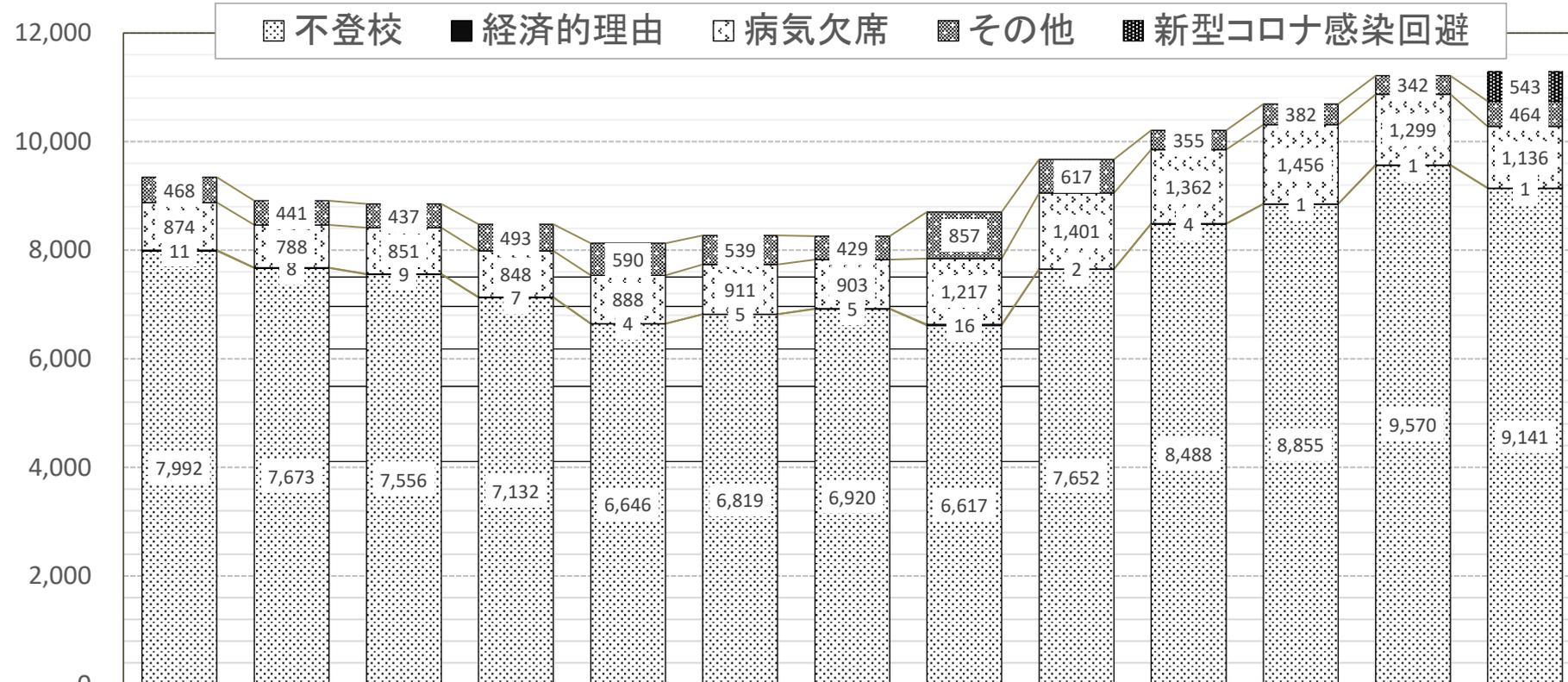
理由別長期欠席者（年度間に通算30日以上欠席した児童・生徒）数の推移（人）



	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
新型コロナウイルス感染回避													1,513
その他	822	866	729	979	956	1,014	923	1,384	1,047	940	1,148	1,191	1,310
病気欠席	1,551	1,361	1,476	1,493	1,495	1,315	1,399	1,418	1,597	1,574	1,845	1,364	1,348
経済的理由	5	9	3	19	2	0	2	4	0	2	1	0	0
不登校	2,047	2,146	2,246	2,149	1,908	2,179	2,443	2,319	2,765	3,222	3,739	4,578	5,126
(出現率) <%>	0.43%	0.45%	0.47%	0.46%	0.41%	0.47%	0.53%	0.51%	0.61%	0.71%	0.83%	1.02%	1.15%
長期欠席合計	4,425	4,382	4,454	4,640	4,361	4,508	4,767	5,125	5,409	5,738	6,733	7,133	7,784
(出現率) <%>	0.93%	0.92%	0.94%	0.99%	0.94%	0.98%	1.04%	1.13%	1.20%	1.27%	1.49%	1.59%	1.75%
全児童数	475,205	475,693	474,156	469,542	463,403	459,278	456,741	454,730	451,751	450,878	450,520	448,188	443,921
長期欠席に占める不登校の割合 <%>	46.26%	48.97%	50.43%	46.31%	43.75%	48.34%	51.25%	45.25%	51.12%	56.15%	55.53%	64.18%	65.85%
													55.14%

【中学校】

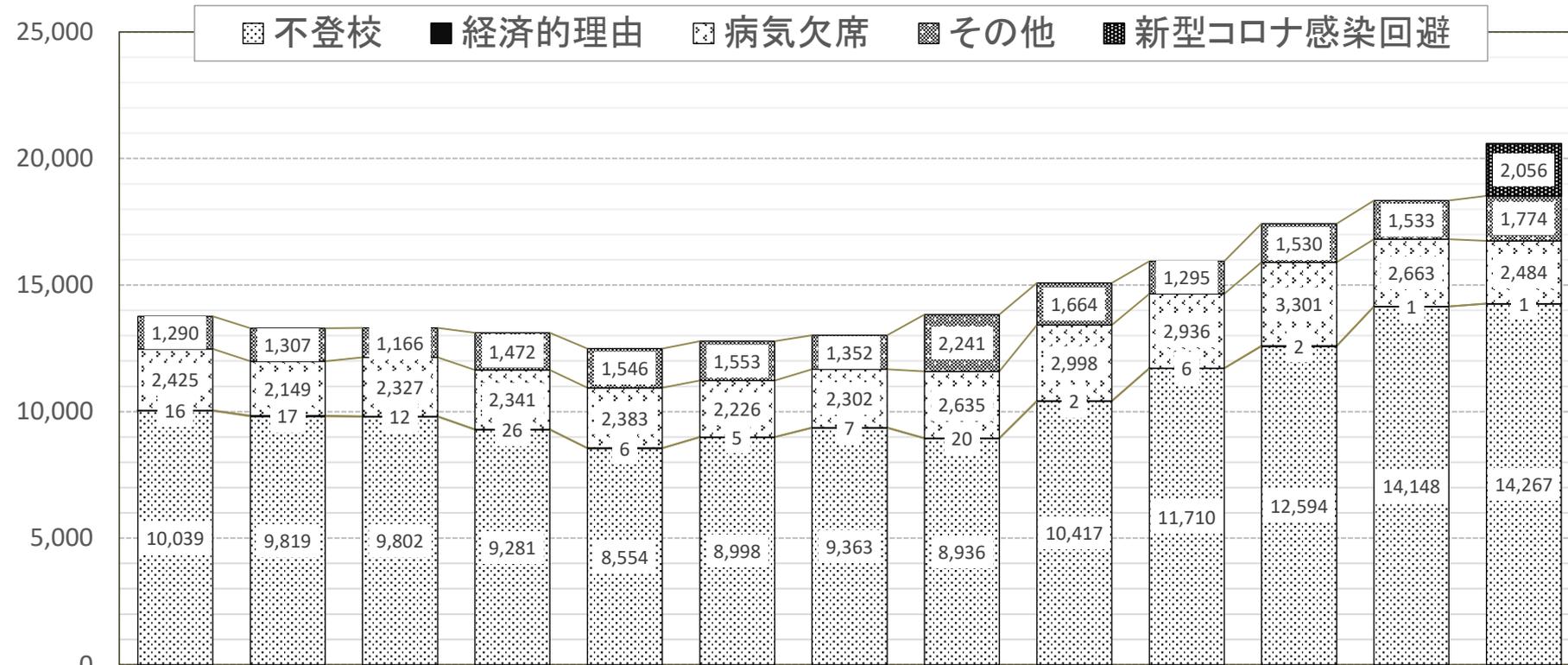
理由別長期欠席者(年度間に通算30日以上欠席した児童・生徒)数の推移(人)



	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
新型コロナ感染回避													543
その他	468	441	437	493	590	539	429	857	617	355	382	342	464
病気欠席	874	788	851	848	888	911	903	1,217	1,401	1,362	1,456	1,299	1,136
経済的理由	11	8	9	7	4	5	5	16	2	4	1	1	1
不登校	7,992	7,673	7,556	7,132	6,646	6,819	6,920	6,617	7,652	8,488	8,855	9,570	9,141
(出現率) <%>	4.00%	3.79%	3.72%	3.43%	3.17%	3.23%	3.29%	3.16%	3.68%	4.14%	4.40%	4.80%	4.56%
長期欠席合計	9,345	8,910	8,853	8,480	8,128	8,274	8,257	8,707	9,672	10,209	10,694	11,212	10,742
(出現率) <%>	4.68%	4.40%	4.36%	4.08%	3.88%	3.92%	3.93%	4.15%	4.65%	4.98%	5.32%	5.62%	5.36%
全生徒数	199,652	202,448	203,132	207,684	209,568	210,880	210,296	209,696	208,032	205,144	201,147	199,482	200,541
長期欠席に占める不登校の割合 <%>	85.52%	86.12%	85.35%	84.10%	81.77%	82.41%	83.81%	76.00%	79.11%	83.14%	82.80%	85.35%	85.10%
													81.00%

【小・中学校合計】

理由別長期欠席者(年度間に通算30日以上欠席した児童・生徒)数の推移(人)



	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
新型コロナ感染回避													2,056
その他	1,290	1,307	1,166	1,472	1,546	1,553	1,352	2,241	1,664	1,295	1,530	1,533	1,774
病気欠席	2,425	2,149	2,327	2,341	2,383	2,226	2,302	2,635	2,998	2,936	3,301	2,663	2,484
経済的理由	16	17	12	26	6	5	7	20	2	6	2	1	1
不登校	10,039	9,819	9,802	9,281	8,554	8,998	9,363	8,936	10,417	11,710	12,594	14,148	14,267
(出現率) <%>	1.49%	1.45%	1.45%	1.37%	1.27%	1.34%	1.40%	1.34%	1.58%	1.79%	1.93%	2.18%	2.21%
長期欠席合計	13,770	13,292	13,307	13,120	12,489	12,782	13,024	13,832	15,081	15,947	17,427	18,345	18,526
(出現率) <%>	2.04%	1.96%	1.96%	1.94%	1.86%	1.91%	1.95%	2.08%	2.29%	2.43%	2.67%	2.83%	2.87%
全児童・生徒数	674,857	678,141	677,288	677,226	672,971	670,158	667,037	664,426	659,783	656,022	651,667	647,670	644,462
長期欠席に占める不登校の割合 <%>	72.90%	73.87%	73.66%	70.74%	68.49%	70.40%	71.89%	64.60%	69.07%	73.43%	72.27%	77.12%	77.01%
													69.32%

(3-2) 学年別不登校児童・生徒数

区分	小学校							中学校				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	
不登校児童・生徒数	300	471	680	899	1,237	1,539	5,126	2,304	3,363	3,474	9,141	14,267

(参考2)

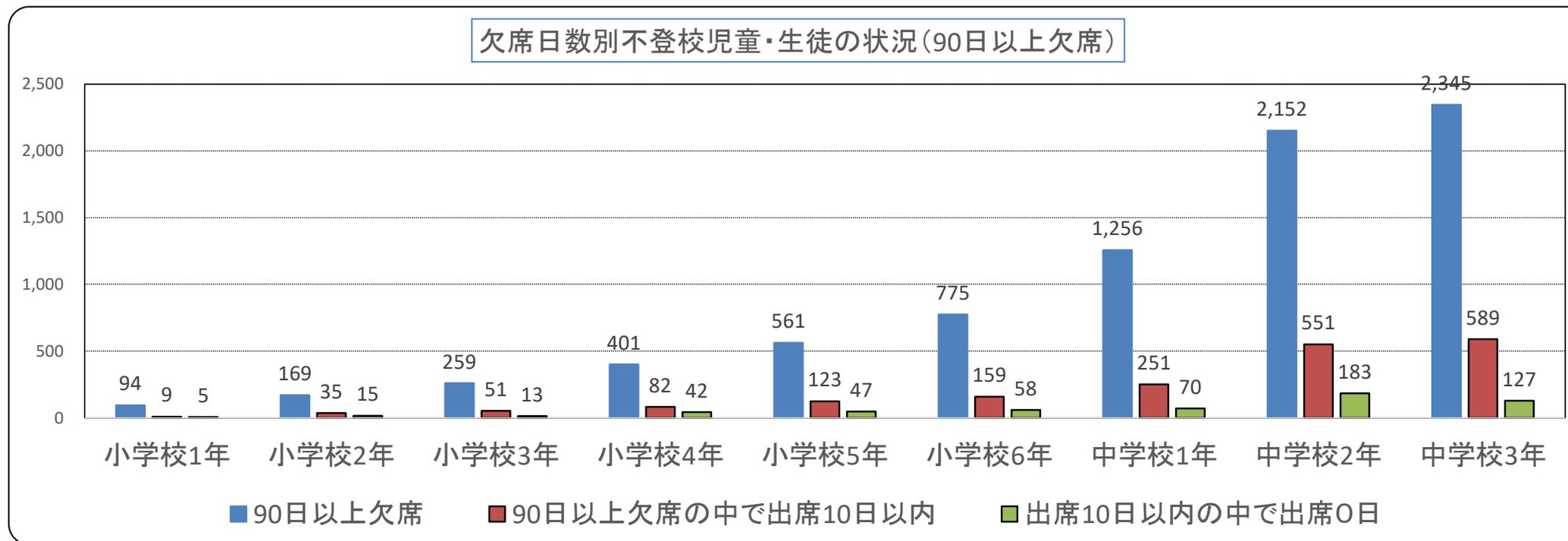
不登校児童・生徒(30日以上欠席者)の推移

区分	小学校				中学校				計			
	(A) 全児童数(人)	(B) 不登校児童数(人)	出現率(B/A×100)(%)	不登校児童数の増減率(%)	(A) 全生徒数(人)	(B) 不登校生徒数(人)	出現率(B/A×100)(%)	不登校生徒数の増減率(%)	(A) 全児童・生徒数(人)	(B) 不登校児童・生徒数(人)	出現率(B/A×100)(%)	不登校児童・生徒数の増減率(%)
7年度	487,323	1,026	0.21	—	237,307	3,905	1.65	—	724,630	4,931	0.68	—
8年度	471,538	1,102	0.23	7.4	233,874	4,341	1.86	11.2	705,412	5,443	0.77	10.4
9年度	459,642	1,151	0.25	4.4	230,087	4,789	2.08	10.3	689,729	5,940	0.86	9.1
10年度	452,936	1,900	0.42	65.1	223,600	6,625	2.96	38.3	676,536	8,525	1.26	43.5
11年度	448,955	1,644	0.37	▲ 13.5	215,077	6,599	3.07	▲ 0.4	664,032	8,243	1.24	▲ 3.3
12年度	445,809	1,726	0.39	5.0	208,985	6,776	3.24	2.7	654,794	8,502	1.30	3.1
13年度	447,963	1,780	0.40	3.1	205,176	7,267	3.54	7.2	653,139	9,047	1.39	6.4
14年度	451,946	2,179	0.48	22.4	200,182	7,123	3.56	▲ 2.0	652,128	9,302	1.43	2.8
15年度	457,401	1,969	0.43	▲ 9.6	194,953	7,007	3.59	▲ 1.6	652,354	8,976	1.38	▲ 3.5
16年度	461,323	1,895	0.41	▲ 3.8	191,846	7,074	3.69	1.0	653,169	8,969	1.37	▲ 0.1
17年度	467,340	1,854	0.40	▲ 2.2	192,418	7,399	3.85	4.6	659,758	9,253	1.40	3.2
18年度	471,352	2,051	0.44	10.6	194,015	7,806	4.02	5.5	665,367	9,857	1.48	6.5
19年度	472,013	2,153	0.46	5.0	197,604	7,949	4.02	1.8	669,617	10,102	1.51	2.5
20年度	475,205	2,047	0.43	▲ 4.9	199,652	7,992	4.00	0.5	674,857	10,039	1.49	▲ 0.6
21年度	475,693	2,146	0.45	4.8	202,448	7,673	3.79	▲ 4.0	678,141	9,819	1.45	▲ 2.2
22年度	474,156	2,246	0.47	4.7	203,132	7,556	3.72	▲ 1.5	677,288	9,802	1.45	▲ 0.2
23年度	469,542	2,149	0.46	▲ 4.3	207,684	7,132	3.43	▲ 5.6	677,226	9,281	1.37	▲ 5.3
24年度	463,403	1,908	0.41	▲ 11.2	209,568	6,646	3.17	▲ 6.8	672,971	8,554	1.27	▲ 7.8
25年度	459,278	2,179	0.47	14.2	210,880	6,819	3.23	2.6	670,158	8,998	1.34	5.2
26年度	456,741	2,443	0.53	12.1	210,296	6,920	3.29	1.5	667,037	9,363	1.40	4.1
27年度	454,730	2,319	0.51	▲ 5.1	209,696	6,617	3.16	▲ 4.4	664,426	8,936	1.34	▲ 4.6
28年度	451,751	2,765	0.61	19.2	208,032	7,652	3.68	15.6	659,783	10,417	1.58	16.6
29年度	450,878	3,222	0.71	16.5	205,144	8,488	4.14	10.9	656,022	11,710	1.79	12.4
30年度	450,520	3,739	0.83	16.0	201,147	8,855	4.40	4.3	651,667	12,594	1.93	7.5
R1年度	448,188	4,578	1.02	22.4	199,482	9,570	4.80	8.1	647,670	14,148	2.18	12.3
R2年度	443,921	5,126	1.15	12.0	200,541	9,141	4.56	▲ 4.5	644,462	14,267	2.21	0.8

(3-3)欠席日数別不登校児童・生徒の状況

区分	学年	在籍児童・生徒数	不登校児童・生徒数	90日以上欠席した者のうち					
						出席日数10日以下			
				人数	割合(%)	人数	割合(%)	出席日数が0日	
				人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
小学校	1年生	71,632	300	94	31.3	9	3.0	5	1.7
	2年生	73,049	471	169	35.9	35	7.4	15	3.2
	3年生	73,144	680	259	38.1	51	7.5	13	1.9
	4年生	75,127	899	401	44.6	82	9.1	42	4.7
	5年生	75,004	1,237	561	45.4	123	9.9	47	3.8
	6年生	75,965	1,539	775	50.4	159	10.3	58	3.8
	計	443,921	5,126	2,259	44.1	459	9.0	180	3.5
中学校	1年生	67,960	2,304	1,256	54.5	251	10.9	70	3.0
	2年生	67,183	3,363	2,152	64.0	551	16.4	183	5.4
	3年生	65,398	3,474	2,345	67.5	589	17.0	127	3.7
	計	200,541	9,141	5,753	62.9	1,391	15.2	380	4.2
合計	644,462	14,267	8,012	56.2	1,850	13.0	560	3.9	

(注)パーセンテージは、各区分における不登校生徒に対する割合



(3-4)不登校児童・生徒の在籍学校数

区分	公立学校総数 (A)(校)	不登校児童・生徒 在籍学校数(B)(校)	比率(% (B/A×100)
小学校	856	804	93.9
中学校	412	408	99.0
計	1,268	1,212	95.6

(3-5)不登校の要因

学校種	区分	学校に係る状況							家庭に係る状況			本人に関わる状況		左記に該当なし	
		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動、部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不適応	家庭の生活環境の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、あそび、非行		無気力、不安
小学校	①主たるもの (一人1つ必ず選択)	9	310	107	171	17	2	37	93	151	659	95	648	2,627	200
	②主たるもの以外にも当てはまるもの (一人2つまで選択可)	9	201	69	365	23	1	33	45	55	635	88	471	498	
中学校	①主たるもの (一人1つ必ず選択)	8	1,076	74	502	99	43	47	379	182	465	209	870	4,864	323
	②主たるもの以外にも当てはまるもの (一人2つまで選択可)	12	399	51	530	88	52	35	116	75	319	145	398	628	
計		38	1,986	301	1,568	227	98	152	633	463	2,078	537	2,387	8,617	523

(注1)「分類」については、主たる要因を一つ選択。

(注2)「区分」については、複数回答を可とする。(各区分の人数の合計は不登校児童・生徒数とはならない)

不登校児童・生徒数	小学校	5,126	中学校	9,141	合計	14,267
-----------	-----	-------	-----	-------	----	--------

(3-6)不登校児童・生徒への指導結果状況

区分	小学校		中学校		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった児童・生徒	1,685	32.9	2,650	29.0	4,335	30.4
指導中の児童・生徒	3,441	67.1	6,491	71.0	9,932	69.6

(3-7)相談・指導等を受けた学校内外の機関等及び指導要録上出席扱いとした不登校の児童・生徒数

区分	小学校			中学校			計				
	相談・指導等を受けた人数	指導要録上出席扱いした人数	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)	相談・指導等を受けた人数	指導要録上出席扱いした人数	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)	相談・指導等を受けた人数(A)	不登校児童・生徒数における(A)の割合	指導要録上出席扱いした人数(B)	B/A	うち学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた人数(D)
①～⑦の機関等で相談・指導等を受けた人数(実数)	2,393	461	—	3,269	1,068	—	5,662	39.69	1,529	0.3	0
①教育支援センター(適応指導教室)	345	213	10	750	552	13	1,095	7.68	765	0.7	23
②教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	710	145	2	729	257	4	1,439	10.09	402	0.3	6
③児童相談所、福祉事務所	578	35	—	669	84	—	1,247	8.74	119	0.1	0
④保健所、精神保健福祉センター	28	0	—	20	1	—	48	0.34	1	0.0	0
⑤病院、診療所	825	27	—	1,033	26	—	1,858	13.02	53	0.0	0
⑥民間団体、民間施設	229	73	8	417	216	12	646	4.53	289	0.4	20
⑦上記以外の機関等	155	18	—	134	21	—	289	2.03	39	0.1	0
①～⑦の機関等で相談・指導等を受けていない人数(実数)	2,733	—	—	5,872	—	—	8,605	60.31	—	—	—
⑧・⑨による相談・指導等を受けた人数(実数)	2,417	—	—	3,655	—	—	6,072	42.56	—	—	—
⑧養護教諭による専門的な指導を受けた人数	680	—	—	1,075	—	—	1,755	12.30	—	—	—
⑨スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	2,051	—	—	2,999	—	—	5,050	35.40	—	—	—
⑧・⑨による相談・指導等を受けていない人数(実数)	2,709	—	—	5,486	—	—	8,195	57.44	—	—	—
上記①～⑦、⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,424	—	—	3,567	—	—	4,991	34.98	—	—	—

(注)①～⑦、⑧、⑨は複数回答を可とする。

(3-8) 学校外の機関等で相談・指導等を受け、指導要録上出席扱いとした不登校の児童・生徒数

小学校	中学校	計
461	1,068	1,529

(3-9) 自宅におけるICT等を活用した学習活動を指導要録上出席扱いとした不登校の児童・生徒数

区分	小学校	中学校
指導要録上出席扱いとした児童・生徒数	73	62
うち(3-8)の機関等においても指導要録上の出席扱いを受けた児童・生徒数	16	28

(3-10) 不登校の状態が前年度から継続している児童・生徒数

区分	小学校						中学校			
	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計
令和2年度不登校児童・生徒数	471	680	899	1,237	1,539	4,826	2,304	3,363	3,474	9,141
うち令和元年度から継続	143	248	378	545	722	2,036	740	1,998	2,525	5,263
比率(%)	30.4	36.5	42.0	44.1	46.9	42.2	32.1	59.4	72.7	57.6

(3-11) 教育委員会が設置する「教育支援センター(適応指導教室)」の状況

区分	機関数 (箇所)	指導員数					
		常勤		非常勤		計	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
都道府県 設置	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
市町村 設置	63	38	17.7	177	82.3	215	100
計	63	38	17.7	177	82.3	215	100

4 長期欠席・不登校生徒の状況【公立高等学校】

(4-1)高等学校における理由別長期欠席者数

区分	在籍者数	理由別長期欠席者数														
		不登校		経済的理由		病気		その他		計		新型コロナウイルス 感染回避		総合計		
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	
全 日 制	125,384	1,653	1.32	8	0.01	1,229	0.98	1,764	1.41	4,654	3.71	1,935	1.54	6,589	5.26	
内 訳	1 年 生	33,935	457	1.35	2	0.01	253	0.75	216	0.64	928	2.73	159	0.47	1,087	3.20
	2 年 生	34,354	409	1.19	4	0.01	341	0.99	279	0.81	1,033	3.01	272	0.79	1,305	3.80
	3 年 生	34,017	337	0.99	0	0.00	497	1.46	976	2.87	1,810	5.32	1,397	4.11	3,207	9.43
	単 位 制	23,078	450	1.95	2	0.01	138	0.60	293	1.27	883	3.83	107	0.46	990	4.29
定 時 制	5,738	764	13.31	64	1.12	181	3.15	710	12.37	1,719	29.96	119	2.07	1,838	32.03	
内 訳	1 年 生	393	78	19.85	2	0.51	20	5.09	9	2.29	109	27.74	10	2.54	119	30.28
	2 年 生	381	53	13.91	2	0.52	15	3.94	31	8.14	101	26.51	15	3.94	116	30.45
	3 年 生	431	38	8.82	2	0.46	17	3.94	46	10.67	103	23.90	18	4.18	121	28.07
	4 年 生	345	27	7.83	9	2.61	12	3.48	11	3.19	59	17.10	14	4.06	73	21.16
	単 位 制	4,188	568	13.56	49	1.17	117	2.79	613	14.64	1,347	32.16	62	1.48	1,409	33.64
計	131,122	2,417	1.84	72	0.05	1,410	1.08	2,474	1.89	6,373	4.86	2,054	1.57	8,427	6.43	
内 訳	1 年 生	34,328	535	1.56	4	0.01	273	0.80	225	0.66	1,037	3.02	169	0.49	1,206	3.51
	2 年 生	34,735	462	1.33	6	0.02	356	1.02	310	0.89	1,134	3.26	287	0.83	1,421	4.09
	3 年 生	34,448	375	1.09	2	0.01	514	1.49	1,022	2.97	1,913	5.55	1,415	4.11	3,328	9.66
	4 年 生	345	27	7.83	9	2.61	12	3.48	11	3.19	59	17.10	14	4.06	73	21.16
	単 位 制	27,266	1,018	3.73	51	0.19	255	0.94	906	3.32	2,230	8.18	169	0.62	2,399	8.80

(注1)在籍者数は、令和2年4月1日現在

(注2)「長期欠席者」とは、1年間に連続又は断続して30日以上欠席した児童・生徒をいう。

「長期欠席」の理由として、「不登校」「経済的理由」「病気」「その他」に該当するものを計上している。

「不登校」：何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあるもの(ただし、病気や経済的な理由によるものを除く。)

「経済的理由」：家計が苦しくて教育費が出せないとか、生徒が働いて家計を助けなければならない等のため

「病気」：本人の心身の故障等(けがを含む)により、入院、通院、自宅療養等のため

「新型コロナウイルスの感染回避」：新型コロナウイルスの感染を回避するため、本人又は保護者の意思で出席しない者、及び医療的ケア児や基礎疾患児で登校すべきでない」と校長が判断した者の数。

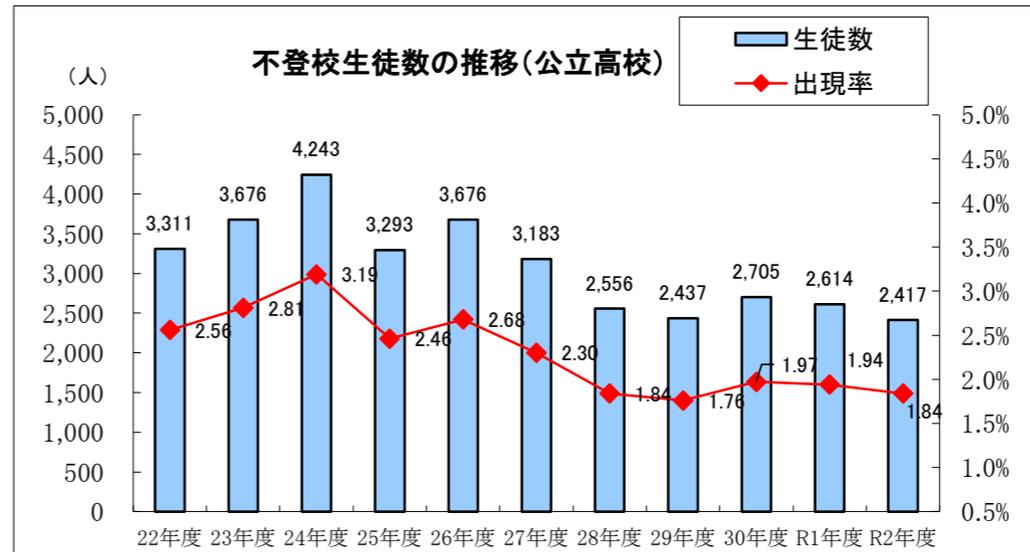
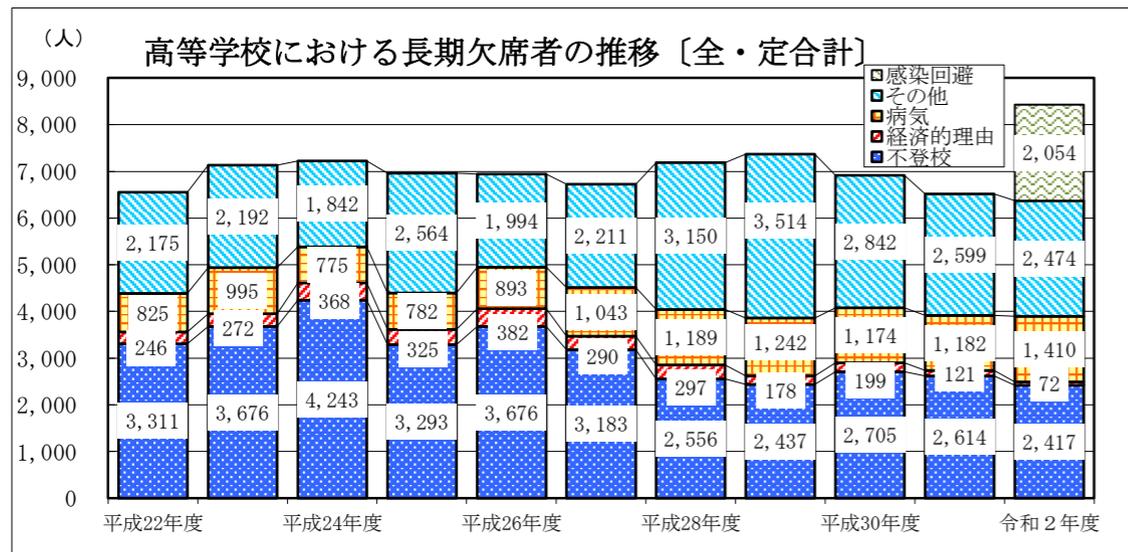
「その他」：上記のいずれにも該当しない理由のため

(注3)パーセンテージは、在籍者数に占める理由別長期欠席者の割合

(参考)
高等学校における理由別長期欠席者数の推移

ア 公立高等学校合計

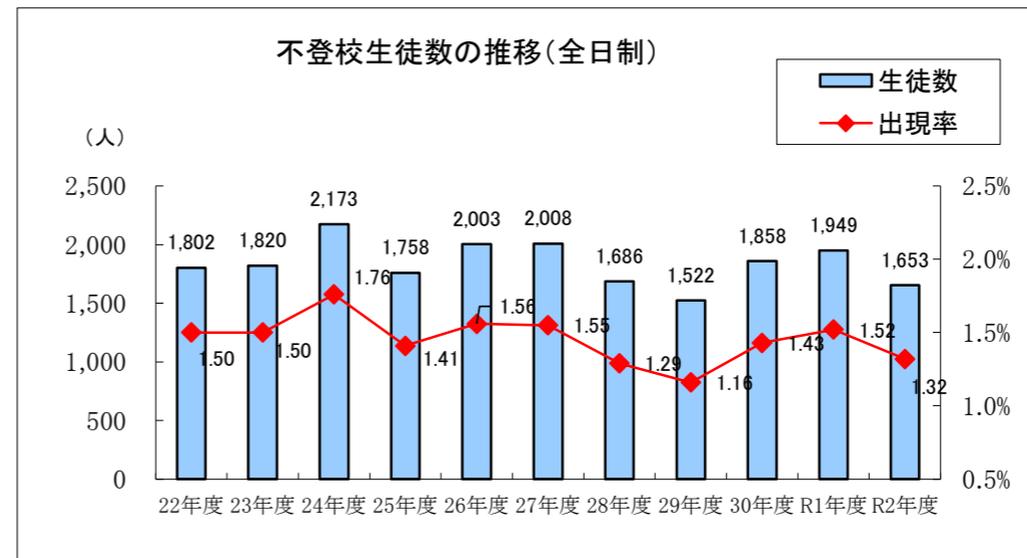
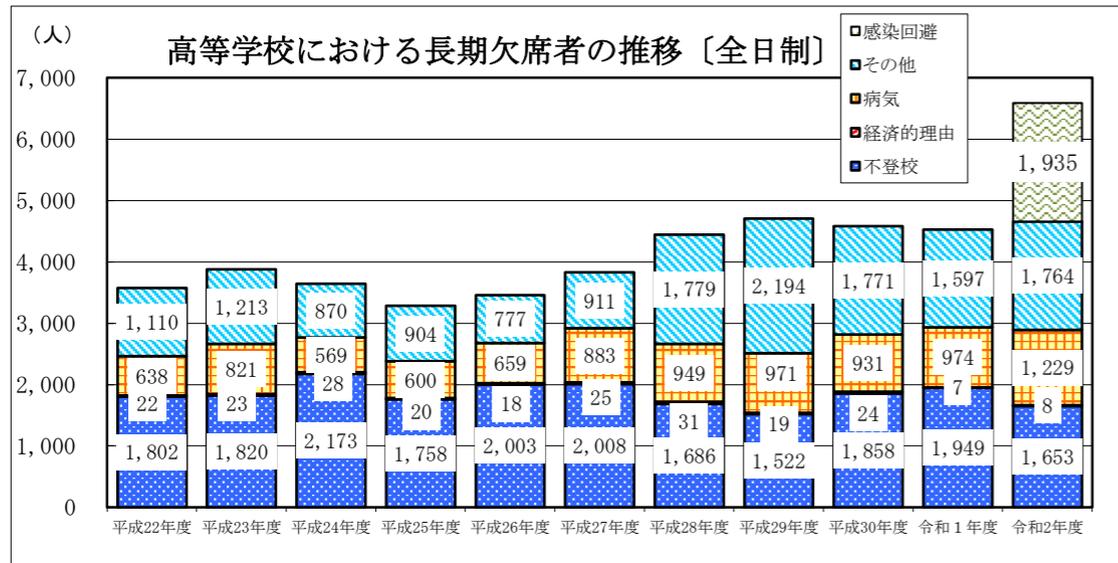
年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計 (新型コロナ感染回避を除く)			新型コロナ感染回避		計 (新型コロナ感染回避を含む)		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)
22年度	129,122	3,311	2.56	-	246	0.19	-	825	0.64	-	2,175	1.68	-	6,557	5.08	-	-	-	-	-	-
23年度	130,846	3,676	2.81	0.25	272	0.21	0.02	995	0.76	0.12	2,192	1.68	0.00	7,135	5.45	0.37	-	-	-	-	-
24年度	132,959	4,243	3.19	0.38	368	0.28	0.07	775	0.58	▲ 0.18	1,842	1.39	▲ 0.29	7,228	5.44	▲ 0.01	-	-	-	-	-
25年度	134,003	3,293	2.46	▲ 0.73	325	0.24	▲ 0.04	782	0.58	0.00	2,564	1.91	0.52	6,964	5.20	▲ 0.24	-	-	-	-	-
26年度	137,315	3,676	2.68	0.22	382	0.28	0.04	893	0.65	0.07	1,994	1.45	▲ 0.46	6,945	5.06	▲ 0.14	-	-	-	-	-
27年度	138,501	3,183	2.30	▲ 0.38	290	0.21	▲ 0.07	1,043	0.75	0.10	2,211	1.60	0.15	6,727	4.86	▲ 0.20	-	-	-	-	-
28年度	139,180	2,556	1.84	▲ 0.46	297	0.21	0.00	1,189	0.85	0.10	3,150	2.26	0.66	7,192	5.17	0.31	-	-	-	-	-
29年度	138,201	2,437	1.76	▲ 0.08	178	0.13	▲ 0.08	1,242	0.90	0.05	3,514	2.54	0.28	7,371	5.33	0.16	-	-	-	-	-
30年度	137,064	2,705	1.97	0.21	199	0.15	0.02	1,174	0.86	▲ 0.04	2,842	2.07	▲ 0.47	6,920	5.05	▲ 0.28	-	-	-	-	-
R1年度	134,593	2,614	1.94	▲ 0.03	121	0.09	▲ 0.06	1,182	0.88	0.02	2,599	1.93	▲ 0.14	6,516	4.84	▲ 0.21	-	-	-	-	-
R2年度	131,122	2,417	1.84	▲ 0.10	72	0.05	▲ 0.04	1,410	1.08	0.20	2,474	1.89	▲ 0.04	6,373	4.86	0.02	2,054	1.57	8,427	6.43	-



	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
不登校	3,311	3,676	4,243	3,293	3,676	3,183	2,556	2,437	2,705	2,614	2,417
(出現率) <%>	2.56	2.81	3.19	2.46	2.68	2.30	1.84	1.76	1.97	1.94	1.84
経済的理由	246	272	368	325	382	290	297	178	199	121	72
病気	825	995	775	782	893	1,043	1,189	1,242	1,174	1,182	1,410
その他	2,175	2,192	1,842	2,564	1,994	2,211	3,150	3,514	2,842	2,599	2,474
新型コロナ感染回避											2,054
長期欠席合計	6,557	7,135	7,228	6,964	6,945	6,727	7,192	7,371	6,920	6,516	6,373
(出現率) <%>	5.08	5.45	5.44	5.20	5.06	4.86	5.17	5.33	5.05	4.84	4.86
全校生徒数	129,122	130,846	132,959	134,003	137,315	138,501	139,180	138,201	137,064	134,593	131,122
長期欠席に占める不登校の割合 <%>	50.50	51.52	58.70	47.29	52.93	47.32	35.54	33.06	39.09	40.12	37.93
											28.68

イ 公立高等学校全日制課程

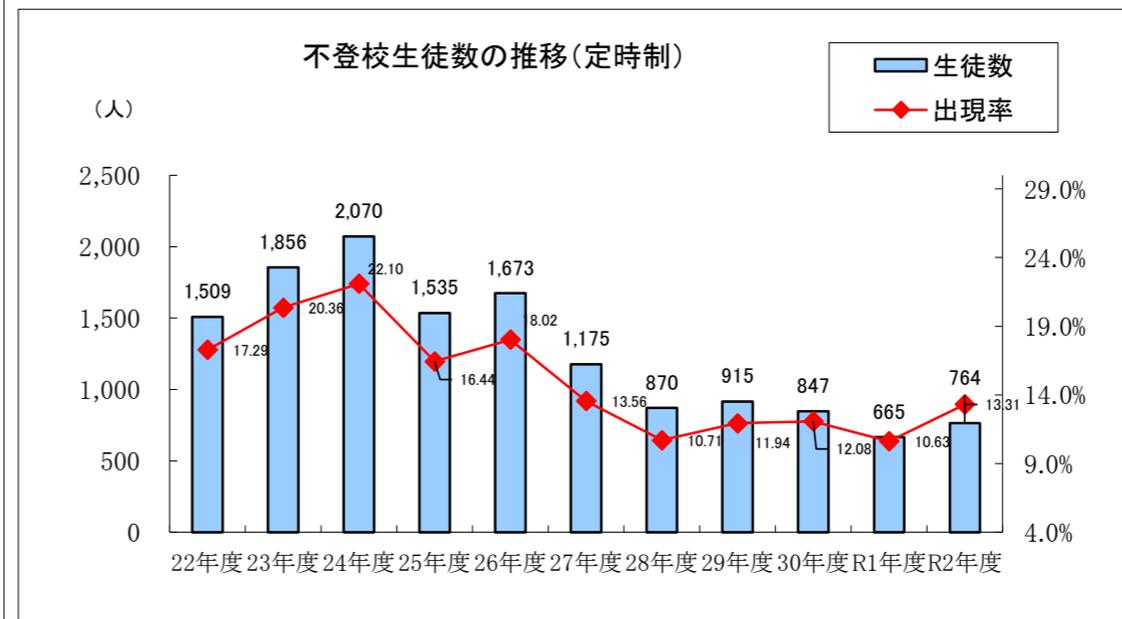
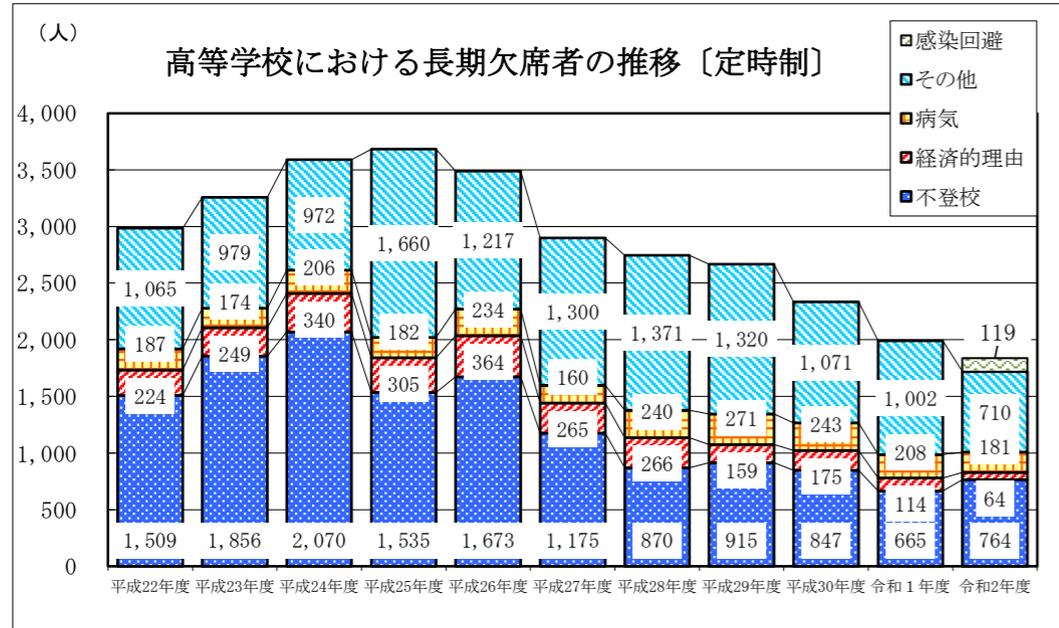
年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計 (新型コロナ感染回避を除く)			新型コロナ感染回避		計 (新型コロナ感染回避を含む)		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)
22年度	120,396	1,802	1.50	-	22	0.02	-	638	0.53	-	1,110	0.92	-	3,572	2.97	-	-	-	-	-	-
23年度	121,729	1,820	1.50	0.00	23	0.02	0.00	821	0.67	0.14	1,213	1.00	0.08	3,877	3.18	0.21	-	-	-	-	-
24年度	123,593	2,173	1.76	0.26	28	0.02	0.00	569	0.46	▲ 0.21	870	0.70	▲ 0.30	3,640	2.95	▲ 0.23	-	-	-	-	-
25年度	124,665	1,758	1.41	▲ 0.35	20	0.02	0.00	600	0.48	0.02	904	0.73	0.03	3,282	2.63	▲ 0.32	-	-	-	-	-
26年度	128,033	2,003	1.56	0.15	18	0.01	▲ 0.01	659	0.51	0.03	777	0.61	▲ 0.12	3,457	2.70	0.07	-	-	-	-	-
27年度	129,839	2,008	1.55	▲ 0.01	25	0.02	0.01	883	0.68	0.17	911	0.70	0.09	3,827	2.95	0.25	-	-	-	-	-
28年度	131,055	1,686	1.29	▲ 0.26	31	0.02	0.00	949	0.72	0.04	1,779	1.36	0.66	4,445	3.39	0.44	-	-	-	-	-
29年度	130,740	1,522	1.16	▲ 0.13	19	0.01	▲ 0.01	971	0.74	0.02	2,194	1.68	0.32	4,706	3.60	0.21	-	-	-	-	-
30年度	130,052	1,858	1.43	0.27	24	0.02	0.01	931	0.72	▲ 0.02	1,771	1.36	▲ 0.32	4,584	3.52	▲ 0.08	-	-	-	-	-
R1年度	128,336	1,949	1.52	0.09	7	0.01	▲ 0.01	974	0.76	0.04	1,597	1.24	▲ 0.12	4,527	3.53	0.01	-	-	-	-	-
R2年度	125,384	1,653	1.32	▲ 0.20	8	0.01	0.00	1,229	0.98	0.22	1,764	1.41	0.17	4,654	3.71	0.18	1,935	1.54	6,589	5.26	-



	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	
不登校 (出現率) <%>	1,802 1.50	1,820 1.50	2,173 1.76	1,758 1.41	2,003 1.56	2,008 1.55	1,686 1.29	1,522 1.16	1,858 1.43	1,949 1.52	1,653 1.32	
経済的理由	22	23	28	20	18	25	31	19	24	7	8	
病気	638	821	569	600	659	883	949	971	931	974	1,229	
その他	1,110	1,213	870	904	777	911	1,779	2,194	1,771	1,597	1,764	
新型コロナ感染回避											1,935	
長期欠席合計 (出現率) <%>	3,572 2.97	3,877 3.18	3,640 2.95	3,282 2.63	3,457 2.70	3,827 2.95	4,445 3.39	4,706 3.60	4,584 3.52	4,527 3.53	4,654 3.71	6,589 5.26
全校生徒数	120,396	121,729	123,593	124,665	128,033	129,839	131,055	130,740	130,052	128,336	125,384	
長期欠席に占める不登校の割合 <%>	50.45	46.94	59.70	53.56	57.94	52.47	37.93	32.34	40.53	43.05	35.52	25.09

ウ 公立高等学校定時制課程

年度	在籍者数	不登校			経済的理由			病気			その他			計（新型コロナ感染回避を除く）			新型コロナ感染回避		計（新型コロナ感染回避を含む）		
		生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)	生徒数 (人)	出現率 (%)	生徒数 (人)	出現率 (%)	増減 (p)									
22年度	8,726	1,509	17.29	-	224	2.57	-	187	2.14	-	1,065	12.20	-	2,985	34.21	-	-	-	-	-	-
23年度	9,117	1,856	20.36	3.07	249	2.73	0.16	174	1.91	▲ 0.23	979	10.74	▲ 1.46	3,258	35.74	1.53	-	-	-	-	-
24年度	9,366	2,070	22.10	1.74	340	3.63	0.90	206	2.20	0.29	972	10.38	▲ 0.36	3,588	38.31	2.57	-	-	-	-	-
25年度	9,338	1,535	16.44	▲ 5.66	305	3.27	▲ 0.36	182	1.95	▲ 0.25	1,660	17.78	7.40	3,682	39.43	1.12	-	-	-	-	-
26年度	9,282	1,673	18.02	1.58	364	3.92	0.65	234	2.52	0.57	1,217	13.11	▲ 4.67	3,488	37.58	▲ 1.85	-	-	-	-	-
27年度	8,662	1,175	13.56	▲ 4.46	265	3.06	▲ 0.86	160	1.85	▲ 0.67	1,300	15.01	1.90	2,900	33.48	▲ 4.10	-	-	-	-	-
28年度	8,125	870	10.71	▲ 2.85	266	3.27	0.21	240	2.95	1.10	1,371	16.87	1.86	2,747	33.81	0.33	-	-	-	-	-
29年度	7,661	915	11.94	1.23	159	2.08	▲ 1.19	271	3.54	0.59	1,320	17.23	0.36	2,665	34.79	0.98	-	-	-	-	-
30年度	7,012	847	12.08	0.14	175	2.50	0.42	243	3.47	▲ 0.07	1,071	15.27	▲ 1.96	2,336	33.31	▲ 1.48	-	-	-	-	-
R1年度	6,257	665	10.63	▲ 1.45	114	1.82	▲ 0.68	208	3.32	▲ 0.15	1,002	16.01	0.74	1,989	31.79	▲ 1.52	-	-	-	-	-
R2年度	5,738	764	13.31	2.68	64	1.12	▲ 0.70	181	3.15	▲ 0.17	710	12.37	▲ 3.64	1,719	29.96	▲ 1.83	119	2.07	1,838	32.03	-



	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	
不登校 (出現率) <%>	1,509 17.29	1,856 20.36	2,070 22.10	1,535 16.44	1,673 18.02	1,175 13.56	870 10.71	915 11.94	847 12.08	665 10.63	764 13.31	
経済的理由	224	249	340	305	364	265	266	159	175	114	64	
病気	187	174	206	182	234	160	240	271	243	208	181	
その他	1,065	979	972	1,660	1,217	1,300	1,371	1,320	1,071	1,002	710	
新型コロナ感染回避											119	
長期欠席合計 (出現率) <%>	2,985 34.21	3,258 35.74	3,588 38.31	3,682 39.43	3,488 37.58	2,900 33.48	2,747 33.81	2,665 34.79	2,336 33.31	1,989 31.79	1,719 29.96	1,838 32.03
全校生徒数	8,726	9,117	9,366	9,338	9,282	8,662	8,125	7,661	7,012	6,257	5,738	
長期欠席に占める 不登校の割合 <%>	50.55	56.97	57.69	41.69	47.96	40.52	31.67	34.33	36.26	33.43	44.44	41.57

(4-2) 不登校状態が前年度から継続している生徒数

区分	1年生		2年生		3年生		4年生		単位制		計		
	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	不登校生徒数	割合(%)	
全日制	不登校生徒数	457	—	409	—	337	—	—	—	450	—	1,653	—
	うち 前年度から継続	80	17.5	89	21.8	92	27.3	—	—	107	23.8	368	22.3
定時制	不登校生徒数	78	—	53	—	38	—	27	—	568	—	764	—
	うち 前年度から継続	42	53.8	11	20.8	18	47.4	13	48.1	352	62.0	436	57.1
計	不登校生徒数	535	—	462	—	375	—	27	—	1,018	—	2,417	—
	うち 前年度から継続	122	22.8	100	21.6	110	29.3	13	48.1	459	45.1	804	33.3

(注1)構成比は、各課程・各学年の不登校生徒数に占める割合

(4-3) 不登校生徒のうち中途退学・原級留置になった生徒数

区分	全日制		定時制		計	
	生徒数	※(%)	生徒数	※(%)	生徒数	※(%)
不登校生徒数	1,653	—	764	—	2,417	—
うち中途退学に至った者	345	20.9	114	14.9	459	19.0
うち原級留置に至った者	98	5.9	49	6.4	147	6.1

(注)※印は各課程の不登校生徒数に占める中途退学者数及び原級留置者数の割合

(4-4) 不登校の要因

分類	区分	学校に係る状況							家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	
		いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動、部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不適応	家庭の生活環境の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活リズムの乱れ、遊び、非行		無気力、不安
全日制	①主たるもの (一人1つ必ず選択)	3	154	19	91	76	17	6	137	30	43	26	335	586	130
	②主たるもの以外にも当てはまるもの (一人2つまで選択可)	0	34	7	91	22	9	10	29	10	65	33	104	134	
定時制	①主たるもの (一人1つ必ず選択)	0	38	1	15	10	0	1	13	10	7	8	178	438	45
	②主たるもの以外にも当てはまるもの (一人2つまで選択可)	0	27	3	37	5	0	6	6	23	29	24	85	101	

(注1)「分類」については、主たる要因を一つ選択。

(注2)「区分」については、複数回答を可とする。(各区分の人数の合計は不登校児童・生徒数とはならない)

(4-5) 不登校生徒への指導結果状況

区分	(1)全日制		(2)定時制		計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった生徒	859	52.0	264	34.6	1,123	46.5
指導中の生徒	794	48.0	500	65.4	1,294	53.5

(4-6) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

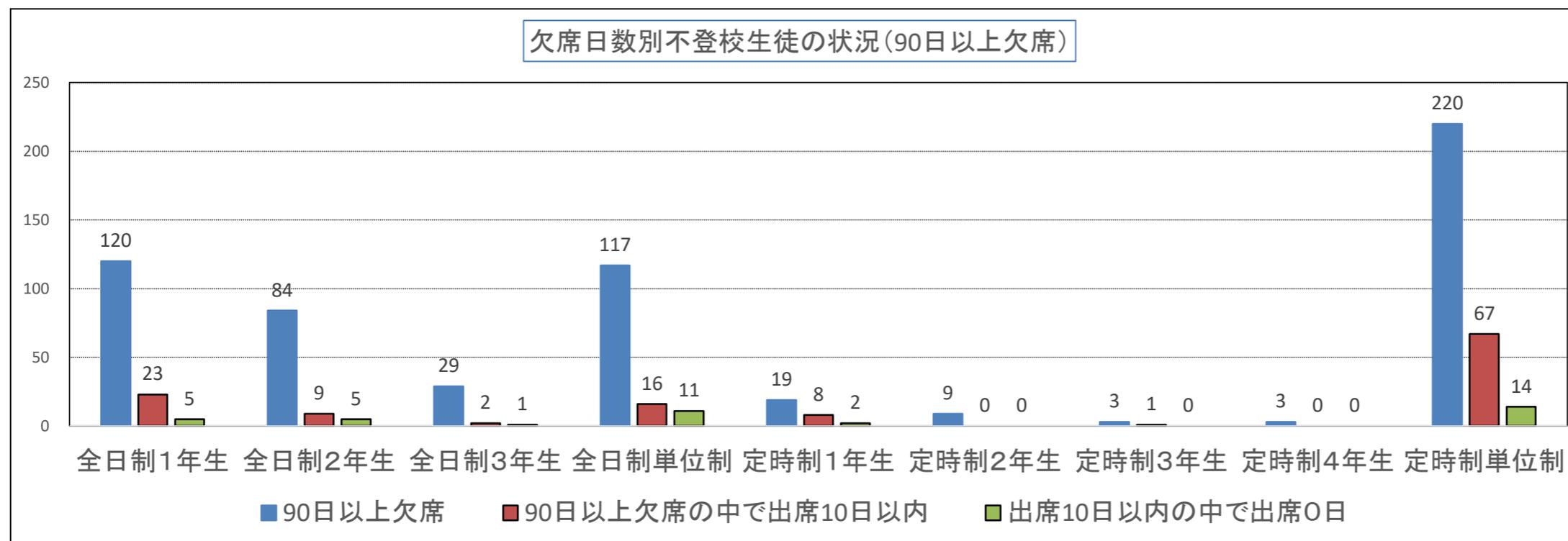
区分	全日制				定時制				計								
	相談・指導等を受けた人数		指導要録上出席扱いした人数		相談・指導等を受けた人数		指導要録上出席扱いした人数		相談・指導等を受けた人数(A)		不登校児童・生徒数における(A)の割合(%)		指導要録上出席扱いした人数(B)		(B)/(A)(%)		
		※うち90日以上		※うち90日以上		※うち90日以上		※うち90日以上		※うち90日以上		※うち90日以上		※うち90日以上		※うち90日以上	
学校外	(1) ①～⑦の機関等で相談・指導等を受けた人数(実数)	295	105	9	2	67	32	0	0	362	137	14.98	5.67	9	2	2.49	1.46
	①教育支援センター(適応指導教室)	22	8	0	0	6	4	0	0	28	12	1.16	0.50	0	0	0.00	0.00
	②教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	17	11	2	0	0	0	0	0	17	11	0.70	0.46	2	0	11.76	0.00
	③児童相談所、福祉事務所	51	18	5	0	23	10	0	0	74	28	3.06	1.16	5	0	6.76	0.00
	④保健所、精神福祉保健センター	2	1	0	0	1	0	0	0	3	1	0.12	0.04	0	0	0.00	0.00
	⑤病院、診療所	202	64	2	2	28	15	0	0	230	79	9.52	3.27	2	2	0.87	2.53
	⑥民間団体、民間施設	15	8	0	0	9	4	0	0	24	12	0.99	0.50	0	0	0.00	0.00
	⑦上記以外の機関等	18	8	0	0	10	5	0	0	28	13	1.16	0.54	0	0	0.00	0.00
(2) ①～⑦の機関等で相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,237	225	—	—	590	178	—	—	1,827	403	75.59	16.67	—	—	—	—	
(3) 不明(実数)	121	20	—	—	107	44	—	—	228	64	9.43	2.65	—	—	—	—	
(4) (1)～(3)の合計	1,653	350	—	—	764	254	—	—	2,417	604	100.00	24.99	—	—	—	—	
学校内	(5) ⑧・⑨による相談・指導等を受けた人数(実数)	650	153	—	—	141	53	—	—	791	206	32.73	8.52	—	—	—	—
	⑧養護教諭による専門的な指導を受けた人数	416	88	—	—	103	31	—	—	519	119	21.47	4.92	—	—	—	—
	⑨スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	454	116	—	—	71	28	—	—	525	144	21.72	5.96	—	—	—	—
	(6) ⑧・⑨による相談・指導等を受けていない人数(実数)	1,003	197	—	—	623	201	—	—	1,626	398	67.27	16.47	—	—	—	—
	(7) (5)～(6)の合計	1,653	350	—	—	764	254	—	—	2,417	604	100.00	24.99	—	—	—	—
(8) 上記①～⑦, ⑧, ⑨による相談・指導等を受けていない人数	862	152	—	—	496	160	—	—	1,358	312	56.19	12.91	—	—	—	—	

(注1)①～⑦、⑧、⑨は複数回答可

(注2)(8)の人数および割合は、相談・指導を受けていない人数・割合

(4-7) 欠席日数別不登校生徒の状況

区分	学年	在籍生徒数	不登校生徒数	90日以上欠席した者のうち					
				出席日数10日以下		出席日数が0日			
				人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
全日制	1年生	33,935	457	120	26.3	23	5.0	5	1.1
	2年生	34,354	409	84	20.5	9	2.2	5	1.2
	3年生	34,017	337	29	8.6	2	0.6	1	0.3
	単位制	23,078	450	117	26.0	16	3.6	11	2.4
	計	125,384	1,653	350	21.2	50	3.0	22	1.3
定時制	1年生	393	78	19	24.4	8	10.3	2	2.6
	2年生	381	53	9	17.0	0	0.0	0	0.0
	3年生	431	38	3	7.9	1	2.6	0	0.0
	4年生	345	27	3	11.1	0	0.0	0	0.0
	単位制	4,188	568	220	38.7	67	11.8	14	2.5
	計	5,738	764	254	33.2	76	9.9	16	2.1
合計		131,122	2,417	604	25.0	126	5.2	38	1.6



(5-2) 事由別中途退学者数

事由	全日制		定時制		通信制	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
学業不振	82	8.3	6	1.3	2	0.5
学校生活・学業不適応	384	38.7	133	27.9	9	2.5
進路変更	427	43.1	218	45.7	42	11.5
別の高校への入学を希望	140	14.1	44	9.2	5	1.4
専修・各種学校への入学を希望	6	0.6	6	1.3	6	1.6
就職を希望	106	10.7	117	24.5	15	4.1
高卒程度認定試験を受験希望	90	9.1	21	4.4	4	1.1
その他	85	8.6	30	6.3	12	3.3
病気・けが・死亡	36	3.6	20	4.2	3	0.8
経済的理由	0	0.0	2	0.4	0	0.0
家庭の事情	37	3.7	38	8.0	6	1.6
問題行動等	13	1.3	6	1.3	0	0.0
その他の理由	12	1.2	54	11.3	303	83.0
中途退学者数	991	100.0	477	100.0	365	100.0

(注1)中途退学者1人につき、主たる理由を一つ選択

(注2)構成比は、各事由における中途退学者数に対する割合

(注3)平成25年度より、通信制についても数値を計上

(5-3) 経済的理由の具体的な状況

事由	全日制		定時制		通信制	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
①授業料減免を受けていた者	0	0.0	0	0.0	0	0.0
②奨学金の貸与を受けていた者	0	0.0	0	0.0	0	0.0
③授業料の滞納があった者	0	0.0	2	100.0	0	0.0
④上記のいずれかにも該当しない者	0	0.0	0	0.0	0	0.0
経済的理由による中途退学者数	0	0.0	2	100.0	0	0.0

(注1)①～③については複数回答可

(注2)構成比は、経済的理由による退学者数に対する割合

(注3)平成25年度より、通信制についても数値を計上

(5-4) 課程・学科・学年別中途退学者数

区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)						
1年生	261	0.88	103	2.41	—	—	65	16.54	—	—	429	1.25
2年生	201	0.67	68	1.57	—	—	26	6.82	—	—	295	0.85
3年生	58	0.19	14	0.33	—	—	25	5.80	—	—	97	0.28
4年生	—	—	—	—	—	—	12	3.48	—	—	12	3.48
単位制	188	1.44	37	1.14	61	0.90	349	8.33	365	9.81	1,000	3.23
合計	708	0.69	222	1.38	61	0.90	477	8.31	365	9.81	1,833	1.36

(注)割合は、令和2年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別)に占める中途退学者の割合

(5-5) 課程・学科・学年別懲戒による退学者数

区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)						
1年生	0	0.00	0	0.00	—	—	0	0.00	—	—	0	0.00
2年生	0	0.00	0	0.00	—	—	0	0.00	—	—	0	0.00
3年生	0	0.00	0	0.00	—	—	0	0.00	—	—	0	0.00
4年生	—	—	—	—	—	—	0	0.00	—	—	0	0.00
単位制	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
合計	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00

(注)割合は、令和2年4月1日現在の課程・学科・学年別中途退学者数に占める懲戒による退学者の割合

(5-6) 課程・学科・学年別原級留置者数

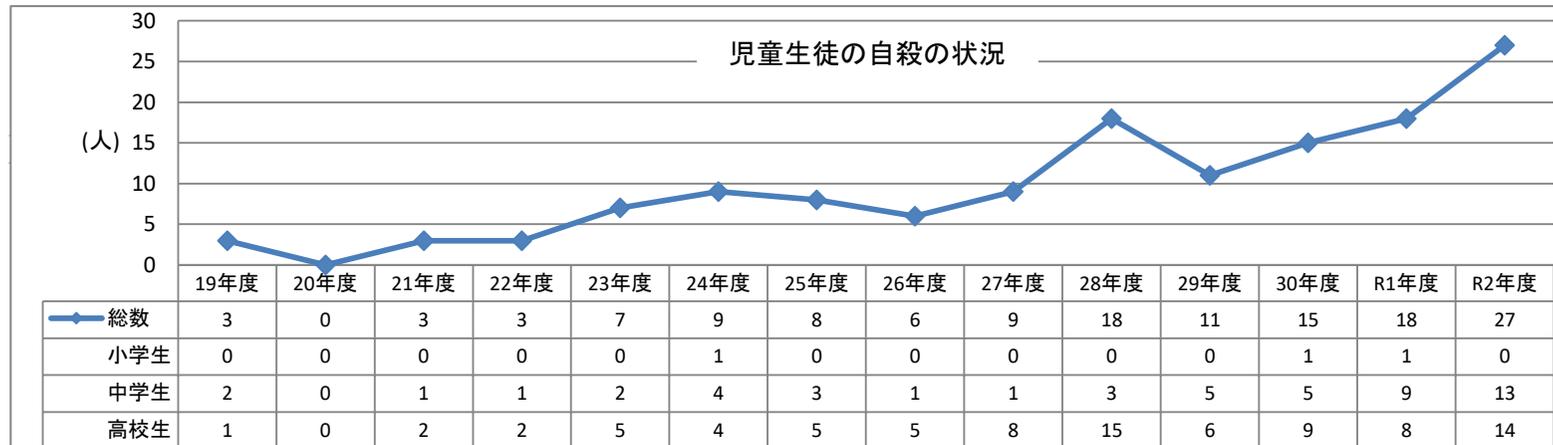
区分	全日制						定時制		通信制		合計	
	普通科		専門学科		総合学科		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)						
1年生	85	0.29	8	0.19	—	—	12	3.05	—	—	105	0.31
2年生	54	0.18	5	0.12	—	—	8	2.10	—	—	67	0.19
3年生	13	0.04	2	0.05	—	—	7	1.62	—	—	22	0.06
4年生	—	—	—	—	—	—	7	2.03	—	—	7	2.03
単位制	3	0.02	0	0.00	0	0.00	7	0.17	0	0.00	10	0.03
合計	155	0.15	15	0.09	0	0.00	41	0.71	0	0.00	211	0.16

(注1)原級留置者とは、令和3年3月末現在で進級又は卒業が認められなかった者をいう

(注2)割合は、令和2年4月1日現在の在籍生徒数(課程・学年等別(単位制を除く))に占める原級留置者の割合

6 自殺の状況【公立小・中・高等学校】

(6-1) 児童・生徒の自殺の状況



(6-2) 自殺した児童・生徒の学年別、男女別内訳

区分	小学校							中学校				高等学校					合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計	1年生	2年生	3年生	4年生	計	
男子	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4	1	4	6	0	11	15
女子	0	0	0	0	0	0	0	1	6	2	9	0	1	1	1	3	12
計	0	0	0	0	0	0	0	1	7	5	13	1	5	7	1	14	27

(6-3) 自殺した児童・生徒が置かれていた状況

区分	小学校		中学校		高等学校		計	
	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)	人数 (人)	構成比 (%)
家庭不和	0	0.0	6	46.2	2	14.3	8	29.6
父母等の叱責	0	0.0	6	46.2	1	7.1	7	25.9
学業等不振	0	0.0	1	7.7	0	0.0	1	3.7
進路問題	0	0.0	3	23.1	2	14.3	5	18.5
教職員との関係での悩み	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
友人関係での悩み(いじめを除く)	0	0.0	5	38.5	0	0.0	5	18.5
いじめの問題	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
病弱等による悲観	0	0.0	0	0.0	2	14.3	2	7.4
えん世	0	0.0	2	15.4	0	0.0	2	7.4
異性問題	0	0.0	0	0.0	2	14.3	2	7.4
精神障害	0	0.0	1	7.7	0	0.0	1	3.7
その他	0	0.0	1	7.7	1	7.1	2	7.4
不明	0	0.0	3	23.1	7	50.0	10	37.0

(注1)複数回答を可とする。

(注2)自殺した児童・生徒が置かれていた状況について、自殺の理由に関係なく、学校が事実として把握しているもの以外でも、警察等の関係機関や保護者、他の児童・生徒等の情報があれば、該当する項目を全て選択すること。

(注3)それぞれの項目については、以下の具体例を参考にすること。

- ①家庭不和：父母や兄弟等との関係がうまくいかずに悩んでいた。等
- ②父母等の叱責：父母等から叱られ落ち込んでいた。等
- ③学業等不振：成績が以前と比べて大幅に落ち込んでいた。/授業や部活動についていけず悩んでいた。等
- ④進路問題：卒業後の進路に悩んでいた。/受験や就職試験に失敗した。/面接等で志望校への受験が困難である旨を告げられた。等
- ⑤教職員との関係での悩み：学級担任との関係がうまくいかずに悩んでいた。/教職員から厳しく叱責を受けていた。等
- ⑥友人関係の悩み(いじめを除く。)：友人とけんかをし、その後、関係がうまくいかずに悩んでいた。/クラスになじむことができずに悩んでいた。等
- ⑦いじめの問題：いじめられ、つらい思いをしていた。/保護者から自殺した児童・生徒に対していじめがあったのではないかと訴えがあった。/自殺した児童・生徒に対するいじめがあったと他の児童・生徒が証言していた。等
- ⑧病弱等による悲観：病気や病弱であることについて悩んでいた。等
- ⑨えん世：世の中を嫌なもの、価値のないものと思って悩んでいた。等
- ⑩異性問題：異性問題について悩んでいた。等
- ⑪精神障害：精神障害で専門家による治療を受けていた。等
- ⑫不明：周囲から見ても普段の生活と変わらず、特に悩みを抱えている様子も見られなかった。等

7 出席停止の状況【公立小・中学校】

(7-1) 出席停止の措置がとられた小・中学校数及び市町村教育委員会数

区分	小学校	中学校	教育委員会数
令和2年度	0	0	0

(7-2) 出席停止の学年別・男女別件数

学年別件数													男女別件数					
区分	小学校							中学校				合計	区分	小学校	中学校	計		
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年生	2年生	3年生	計		男子	女子	計			
令和2年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(7-3) 出席停止の期間別件数

区分	1～3日	4～6日	7～13日	14～20日	21日以上	計
小学校	0	0	0	0	0	0
中学校	0	0	0	0	0	0

(7-4) 出席停止の理由別件数

区分	対教師暴力	生徒間暴力	対人暴力	器物損壊	授業妨害	いじめ	その他	計
小学校	0	0	0	0	0	0	0	0
中学校	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0

(注)複数回答可

8 教育相談の状況（県・市町村教育委員会）

（8-1）県・政令指定都市における教育相談機関及び教育相談員数

区分	機関 (カ所)	教育相談員		
		常勤(人)	非常勤(人)	計
教育センター・研究所	2	17 (8.5)	19 (9.5)	36 (18.0)
教育相談所・相談室	6	22 (3.7)	109 (18.2)	131 (21.8)

(注1)()内は、1機関当たりの平均教育相談員数。

(注2)「教育センター・研究所」とは、教員研修、専門的研究、教育相談等の活動を行う総合的機関。

(注3)「教育相談所・相談室」とは、主として教育相談を行う機関のことであり、教育委員会や地方教育

事務所の建物の中に設置されている相談室や相談コーナーを含む。

（8-2）県・政令指定都市における相談形態別教育相談件数

区分	来所相談	電話相談	訪問相談	巡回相談	SNS等を活用した相談	計
教育センター・研究所	2,289	5,007	41	0	85	7,422
教育相談所・相談室	1,648	2,818	254	11,532	11	16,263
計	3,937	7,825	295	11,532	96	23,685

(注1)訪問相談とは、依頼に応じて訪問して行う教育相談をいい、巡回教育相談とは、教育相談機関が相談者の便を図り、計画的に公民館等に出向いて相談を受けるものをいう。

(注2)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注3)各件数には、小・中・高・特別支援学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

（8-3）県・政令指定都市における来所相談におけるいじめ及び不登校についての教育相談件数

区分	小学生	中学生	高校生	その他	計
教育センター・研究所での来所教育相談件数(A)	630	386	220	1,053	2,289
教育相談所・相談室での来所相談件数(B)	729	644	205	70	1,648
来所教育相談総件数(AとBの合計)	1,359	1,030	425	1,123	3,937
うち、いじめに関する教育相談件数	5	6	1	5	17
うち、不登校に関する教育相談件数	409	452	135	639	1,635

(注1)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注2)各件数には、小・中・高・特別支援学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

(8-4) 県・政令指定都市における電話相談・訪問相談・巡回相談におけるいじめ及び不登校についての教育相談件数

区分		小学生	中学生	高校生	その他	計
教育相談件数	電話相談	2,211	2,072	2,258	1,284	7,825
	訪問相談	182	97	16	0	295
	巡回相談	6,585	4,947	0	0	11,532
	SNS等を活用した相談	17	17	42	20	96
計		8,995	7,133	2,316	1,304	19,748
内数	いじめに関する相談	101	117	75	21	314
	不登校に関する相談	1,549	4,019	632	433	6,633

(注1)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注2)各件数には、小・中・高等学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

(8-5) 市町村(政令指定都市を除く)の教育委員会が所管する教育相談を行っている機関の状況

ア 教育相談機関数

機関数(カ所)	39
---------	----

イ 教育相談員数

区分	常勤	非常勤	計
人数(人)	47	143	190
構成比(%)	24.7	75.3	100.0
1機関あたりの平均教育相談員数(人)	1.2	3.7	4.9

ウ 相談形態別教育相談件数

区分	来所相談	電話相談	訪問相談	巡回相談	SNS等を活用した相談	計
件数(件)	9,569	6,621	1,756	3,885	160	21,991

(注1)訪問相談とは、依頼に応じて訪問して行う教育相談をいい、巡回教育相談とは、教育相談機関が相談者の便を図り、計画的に公民館等に出向いて相談を受けるものをいう。

(注2)同じ者に継続して行った教育相談は、1件として計上。ただし、途中から相談方法を変えるなど複数の方法で相談を行った場合には、それぞれの相談方法ごとに1件と数える。

(注3)各件数には、小・中・高等学校に通う児童・生徒とその家族による相談のほか、学校に通っていない青少年や教職員などによる相談も含まれる。

(8-6) 県・政令指定都市・市町村教育委員会におけるスクールカウンセラーの活動日数別学校数

	小学校	中学校	高等学校	計
①常駐	5	0	0	5
②年間140日以上(常駐を除く)	0	0	0	0
③年間139日～70日	10	66	3	79
④年間69日～35日	364	272	24	660
⑤年間34日～20日	202	62	61	325
⑥年間19日～10日	121	10	90	221
⑦年間9日～1日	84	0	2	86
⑧年間0日(配置実績なし)	70	2	0	72
計	856	412	180	1,448

(注1) スクールカウンセラーの雇用形態や配置計画に拠らず、実績を計上すること。活動日とは、スクールカウンセラーが学校へ出向くことをはじめ、児童生徒宅への家庭訪問等当該学校への相談業務等に従事した日を指すものとする。また、日数は、時間に拠らず、例えば午前中にA小学校、午後にB中学校で相談業務に当たった場合、それぞれの学校で

1日と考える。さらに、スクールカウンセラーが複数の者配置されている学校については、配置されている者全員の活動日の合計を計上すること、例えば同じ学校で同じ日に2人のスクールカウンセラーが相談業務に当たった場合、2日と考える。

(注2) 常駐とは、スクールカウンセラーが単独の者か複数の者かに寄らず、基本的に毎日、一人以上のスクールソーシャルワーカーが当該学校の相談業務等に従事していることを指す。

(注3) 高等学校の全定併置校や通信制併設校等においては、全日制、定時制、通信制それぞれ1校として別々に計上すること。

(8-7) 県・政令指定都市・市町村教育委員会におけるスクールソーシャルワーカーの活動日数別学校数

	中学校区	小学校	中学校	高等学校	計
①常駐	0	0	0	0	0
②年間168日以上(常駐を除く)	15	16	7	0	23
③年間167日～84日	34	15	10	0	25
④年間83日～42日	129	34	23	19	76
⑤年間41日～20日	86	88	55	34	177
⑥年間19日～10日	62	402	177	1	580
⑦年間9日～1日	66	212	92	82	386
⑧年間0日(配置実績なし)	20	89	48	44	181
計	412	856	412	180	1,448

(注1) スクールソーシャルワーカーが単独の者か複数の者か、あるいは、雇用形態や配置計画に拠らず、実績を計上。活動日とは、スクールソーシャルワーカーが学校へ出向くことをはじめ、児童生徒宅への家庭訪問等当該学校への相談業務等に従事したことを指すものとする。また、日数は、時間に拠らず、例えば午前中にA小学校、午後にB中学校で相談業務に当たった場合、それぞれの学校で1日と数える。さらに、複数のスクールソーシャルワーカー業務に当たっている学校については、業務に当たっているスクールソーシャルワーカー全員の活動日の合計を計上。例えば同じ学校で同じ日に2人のスクールソーシャルワーカーが業務に当たった場合、2日と数える。

(注2) 中学校区とは、中学校別の通学区域であり、1つの中学校とその通学区域内のある複数の小学校を総称するものであるが、各中学校区におけるすべての学校で対応実績があるかどうかにかかわらず、当該中学校区でスクールソーシャルワーカーが活動した日数を計上する。また、中学校区数の区分については、中学校区ごとに1日の活動時間数に関係なく、活動した日数の合計を記入する。

(注3) 常駐とは、スクールソーシャルワーカーが単独の者か複数の者かに寄らず、基本的に毎日、一人以上のスクールソーシャルワーカーが当該学校の相談業務等に従事していることを指す。

(注4) 高等学校の全定併置校や通信制併設校等においては、全日制、定時制、通信制それぞれ1校として別々に計上すること。